

モクレポ



○約100年ぶりに発見された新種のクマノザクラ。
画像提供：森林総合研究所

令和5年4月

No.19

特集

- 「第3回木材利用促進本部」の開催
- 森林シューセキ！事例報告会
- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)
第6次評価報告書統合報告書の公表

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和5年4月号

特集

- 1 「第3回木材利用促進本部」の開催 ……1
- 2 森林シューセキ！事例報告会 ……3
- 3 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次評価報告書統合報告書の公表 ……4

01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数 ……5
- 2 新設住宅着工床面積 <参考>非居住用建築物着工床面積 ……8
- 3 木材産業の業況 ……12
- 4 USドル及びユーロ為替相場 ……13
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃 ……14
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準 ……15

02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格 ……16
- 2 木材価格（農林水産統計） ……18

03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向 ……27
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……30
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……31
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向 ……32
- 5 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高 ……33
- 6 素材生産量 ……34
- 7 木材生産の産出額 ……35

04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額 ……36
- 2 木材輸出額 ……37
- 3 木材輸入額 ……38
- 4 木材輸入量 ……40
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価 ……45

05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量 ……46
- 2 特用林産物の産出額 ……47
- 3 特用林産物の輸出入量 ……48
- 4 特用林産物の輸出額 ……49
- 5 中国からのしいたけ菌糸輸入量 ……52
- 6 きのこと類の卸売量・価格 ……53

06 セミナー・イベント情報

- 4月中旬以降の開催情報 ……54

お知らせ

- 森林の売買に関する情報 ～山を買いきたいという話があったときには～ ……55
- 森林由来J-クレジット創出者向けハンドブックの公表について ……57
- 消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）が令和5年10月1日から始まります！ ……58
- 林業信用保証のご案内 ……62
- ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内 ……63
- 緑の募金 ……64

特集-1 「第3回木材利用促進本部」の開催

- 2023年3月30日、都市（まち）の木造化推進法（※）に基づく第3回木材利用促進本部（本部長：農林水産大臣）を開催。
- この会合では、「令和4年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」を決定。

（※）脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律

■ 第3回木材利用促進本部(2023年3月30日開催)

＜出席者＞

野村農林水産大臣（本部長）
角田農林水産大臣政務官
柘植総務副大臣
築文部科学副大臣
中谷経済産業副大臣
清水国土交通大臣政務官
小林環境副大臣



令和4年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめを決定するとともに、出席者から各省の取組を報告。



これまでの開催状況はこちら

■ 令和4年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ

建築物一般での木材利用促進に向けた取組

○全都道府県と94%の市町村が、木材利用方針を策定。

2021年10月策定の新基本方針を踏まえ、33都道府県及び213市区町村が改定（2022年12月末時点）。

○国が実施する補助事業等の一元的な案内窓口として、木材利用促進本部事務局に「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」を2023年2月に開設。

○建築物木材利用促進協定について、2023年3月15日時点で、国10件、地方公共団体60件の協定が締結。協定に基づき、計732件の建築物の木造化・木質化（約15,100m³の木材使用、計9,600t-CO₂の炭素を貯蔵）、木造に係る人材育成、情報発信等の取組が進展。



コンシェルジュの詳細はこちら

＜建築物木材利用促進協定取組事例＞



協定制度の詳細はこちら

左〔協定締結者〕（学）立命館 × 大分県
：教学棟完成イメージ

右〔協定締結者〕（一社）日本木造耐火建築協会 × 農林水産省
国土交通省
：KITOKI完成見学セミナーの様子

○木材利用促進月間(10月)を中心とした普及啓発の取組(全国で285件の実施を国として把握)。

木材利用優良施設等コンクールに文部科学大臣賞を新設、ウッドデザイン賞に経済産業大臣賞、国土交通大臣賞及び環境大臣賞を新設するなど、表彰制度を充実。



ウッドデザイン賞の詳細はこちら



左 農林水産大臣による
木材利用促進月間の周知
(2022年9月30日定例会見)

中 木づかいシンポジウム2022
(2022年10月7日開催)



木材利用優良施設等コンクールの詳細はこちら

- 木造建築物の設計及び施工に係る技術の普及の促進、住宅における木材の利用の促進、規制の在り方の検討、建築用木材の適切かつ安定的な供給の確保といった建築物への木材利用促進のための環境整備を実施。
- 建築物への木材利用の状況に関しては
- ✓2021年における建築用材等について、総需要量は前年比2,957千m³増加、国内生産量は同1,712千m³増加、自給率48%。
 - ✓2022年に着工した建築物の木造率(床面積ベース)は、低層住宅で82.3%であるのに対して、低層非住宅建築物では14.0%、中高層建築物では住宅・非住宅ともに0.1%以下。
 - ✓2022年に着工した中高層木造建築物の床面積は、前年比4,600m²増加。過去10年間でみると、概ね増加傾向で推移。

国が整備する公共建築物における木材の利用の目標の達成状況

○令和3年度に国が整備した、積極的に木造化を促進するとされている低層の公共建築物のうち、木造化された公共建築物は75棟あり、施設が必要とする機能等の観点から木造化が困難であったものを除くとその木造化率は97%。

＜国が整備した公共建築物での木材利用推進状況＞

整備及び使用実績	単位	R2年度	R3年度
基本方針において積極的に木造化を促進するとされている公共建築物等 ^{注1}	棟数【A】	154	94
	延べ面積(m ²)	15,905	13,477
うち、木造化された公共建築物	棟数【B】	132	75
	延べ面積(m ²)	13,861	10,760
うち、各省各庁において木造化になじまない等と判断された公共建築物	棟数	22	19
(B/A)		85.7%	79.8%
内装等が木質化された公共建築物 ^{注2}	棟数	220	177
木材の使用量 ^{注3}	m ³	5,286	5,546
各省各庁において木造化になじまない等と判断された公共建築物	棟数	22	19
うち、施設が必要とする機能等の観点から木造化が困難であったもの ^{注4}	棟数【C】	16	17
うち、木造化が可能であったもの ^{注4}	棟数	6	2
木造化率(B/(A-C))		95.7%	97.4%

注1: 旧基本方針において積極的に木造化を促進するとされている低層の公共建築物。
注2: 木造化された公共建築物の棟数は除いたもので集計。
注3: 当該年度に完成した公共建築物において、木造化及び木質化による木材使用量。また、木造化を図った公共建築物の内、使用量が不明なものは0.22 m³/m²で換算。内装等に木材を使用した公共建築物で、使用量が不明なものについての木材使用量は未計上。
注4: 林野庁・国土交通省の検証チームが、各省各庁において木造化になじまないと判断された施設について、各省各庁にヒアリングを行い、木造化しなかった理由等について検証をした結果。

＜木造化した公共建築物の事例＞



＜内装等の木質化を行った公共建築物の事例＞



公共建築物における木材の利用の促進に向けた国の取組

- 技術基準類の整備、公共建築物の木造化・木質化に対する支援、木材利用促進に関する講習会等を開催するなど、公共建築物における木材の利用促進に向けた取組を実施。
- 令和3年度に着工した低層(3階建て以下)の公共建築物(注)の木造率(床面積ベース)は、29.4%。●2010年の法制定以降上昇傾向で推移。

令和3年度の
公共建築物
の木造率の
試算結果は
こちら

注: 国、地方公共団体、地方公共団体の関係機関及び独立行政法人等が整備する全ての建築物並びに民間事業者が建築する教育施設、医療、福祉施設等の建築物を「公共建築物」として試算。

「令和4年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」
の詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/kentikubutusoti.html>

特集-2 森林シューセキ！事例報告会

- 2023年2月21日に「森林シューセキ！事例報告会」を開催。
- 全国から9団体が先進事例を報告。「森林境界推計図」を作成する取組、集積計画の全員同意を効率的に取得する方法など、森林環境譲与税の効果的な活用や森林経営管理制度の円滑な運用に関する知見・ノウハウを共有。

発表団体・内容

■ 境界明確化・施業集約化部門

- 白神森林組合：衛星電波による測位機器(RTK-GNSS)を活用した境界明確化の取組
- 北信州森林組合：公図を中心とする境界案の作成
- 徳島県神山町：境界明確化の成果を地籍調査に活用する手法

■ 森林経営管理制度部門

- 福井県福井市：公図や航空レーザ計測成果等から「森林境界推計図」を作成する取組
- (一社)南予森林管理推進センター：市町が意向調査の結果を事業体に提供する仕組み
- (一社)やましごと工房：集積計画の全員同意を効率的に取得する手法
- 石川県金沢市：意向調査と森林位置図の確認を同時に行う手法

■ 森林環境譲与税部門

- 千葉県(浦安市、山武市)：県による自治体間連携創出
- 兵庫県栗東市：森林環境譲与税の各事業への配分基準

《参加者からの感想》

- ✓ それぞれの地域の特性や実情に応じて、最新の技術を活用しながら取組を進めている姿勢が印象に残った。
- ✓ 境界明確化に関する取組事例が多く発表され、参考になった。
- ✓ 協議会や森林組合など、関係者間の横の連携が取れている地域で取組を進めることができていると感じた。



発表会場の様子

「森林シューセキ！事例報告会」当日の発表資料は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html#3.3>



お知らせ 森林環境譲与税・森林経営管理制度のパフレットが完成

国民の皆様や森林所有者の方々に制度を広く知っていただくため、2種のパフレットを作成しました



《一般向け》
森林環境譲与税パンフレット



《所有者向け》
森林経営管理制度パンフレット

各パンフレットは、
林野庁HPからダウンロードできます。

(森林環境譲与税パンフレット)

https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyousei.html#t4



(森林経営管理制度パンフレット)

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html#1>



気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第6次評価報告書統合報告書の公表

- IPCCは2023年3月20日に、第6次評価報告として公表してきた3つの作業部会(※1)報告書と3つの特別報告書(※2)の主な知見を取りまとめた統合報告書を公表。
- 既に確認されている温暖化の影響や、即時の追加的な温室効果ガス排出削減の必要性を指摘し、そのために活用可能な方策や技術等を提示。

(※1) 自然科学的根拠、影響・適応・脆弱性、気候変動の緩和 (※2) 1.5℃特別報告書、土地特別報告書、海洋・雪氷圏特別報告書

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)とは

- 1988年に世界気象機関(WMO)及び国連環境計画(UNEP)により設立された政府間組織。5～7年毎にその間の気候変動に関する科学的知見の評価をまとめた「IPCC評価報告書」を公表。
- IPCC評価報告書は、各国が承認・採択した最新の科学的知見として、UNFCCC(国連気候変動枠組条約)をはじめとする国際交渉や国内政策のための基礎情報として世界中の政策決定者が引用。

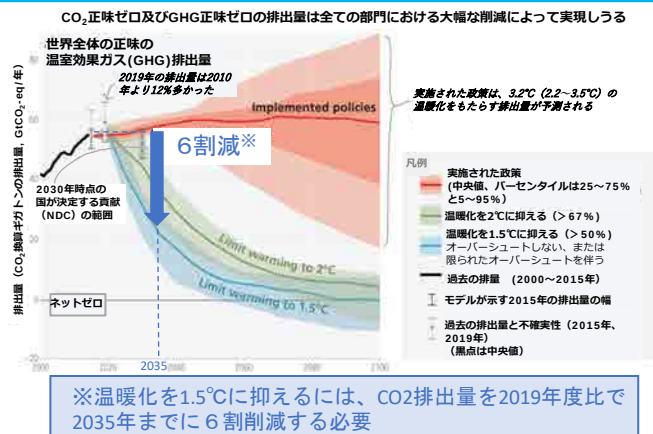
第6次評価報告書統合報告書の概要(記述は要約。原文は統合報告書の政策決定者向け要約(SPM)の{}内に示す章を参照)

【温暖化は進行】

地球温暖化が人間活動の影響で起きていることは疑う余地がなく、世界の平均気温は工業化以前と比べて既に1.1℃上昇。これにより、自然環境や人々の生活に悪影響がもたらされ、一部の生態系と地域では適応の限界に到達。{A.1、A.2、A.4}

【追加的な排出削減が必要】

2020年以降、各国が計画した政策を実施した場合、右図赤線の温室効果ガス排出量が予測。温暖化を1.5℃(青線)又は2.0℃(緑線)に抑える排出量を実現するためには、全ての部門で急速、大幅、即時の温室効果ガス排出削減が必要。{図SPM.5、B.6}



【この10年間の対策が重要】

この10年間の活動は、現在から数千年先まで影響。この間の緩和(温室効果ガス排出削減と吸収の対策)と適応の対策は、将来的な悪影響を軽減し、多くの副次的な便益(コベネフィット:相乗効果)をもたらす。{C.1、C.2}

(統合報告書 図SPM.5より一部改変)

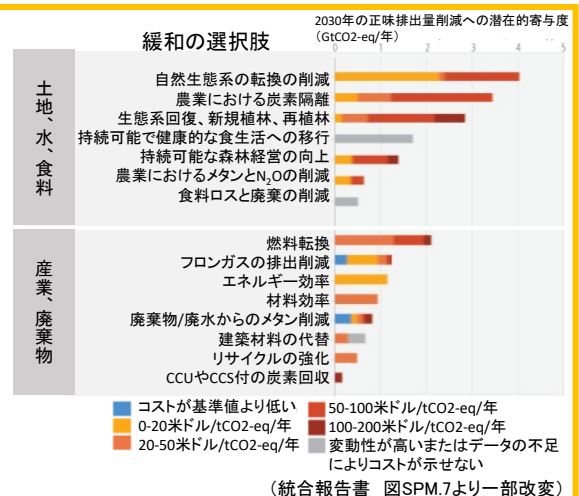
第6次評価報告書統合報告書の森林分野の主な記述

【森林を活用した対策は緩和・適応の両面で有益】

2019年時点の世界の温室効果ガス排出量のうち、22%が農業、林業及びその他の土地利用(AFOLU)分野から排出。このAFOLU分野の排出を削減する対策の多くは、緩和と適応の両方に効果があり、なかでも生態系回復・新規植林・再植林や持続可能な森林経営の向上は低コストで寄与度の高い選択肢。{A.1.4、C.3.5、図SPM.7}

【森林分野の緩和策は現時点で活用可能】

森林管理の向上による二酸化炭素の排出削減は、現時点で技術的に実施でき、多くの地域で展開が期待できる緩和策。木材製品など持続可能に調達された農林産物は、他の温室効果ガス排出量の多い製品の代わりに使用できる。{A.4.2、C.3.5、図SPM.7}



IPCC及び第6次評価報告書統合報告書の詳細は、次のURLをご覧ください。

農水省HP: https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/230320.html

IPCCのHP(英文): <https://www.ipcc.ch/report/ar6/syr/>



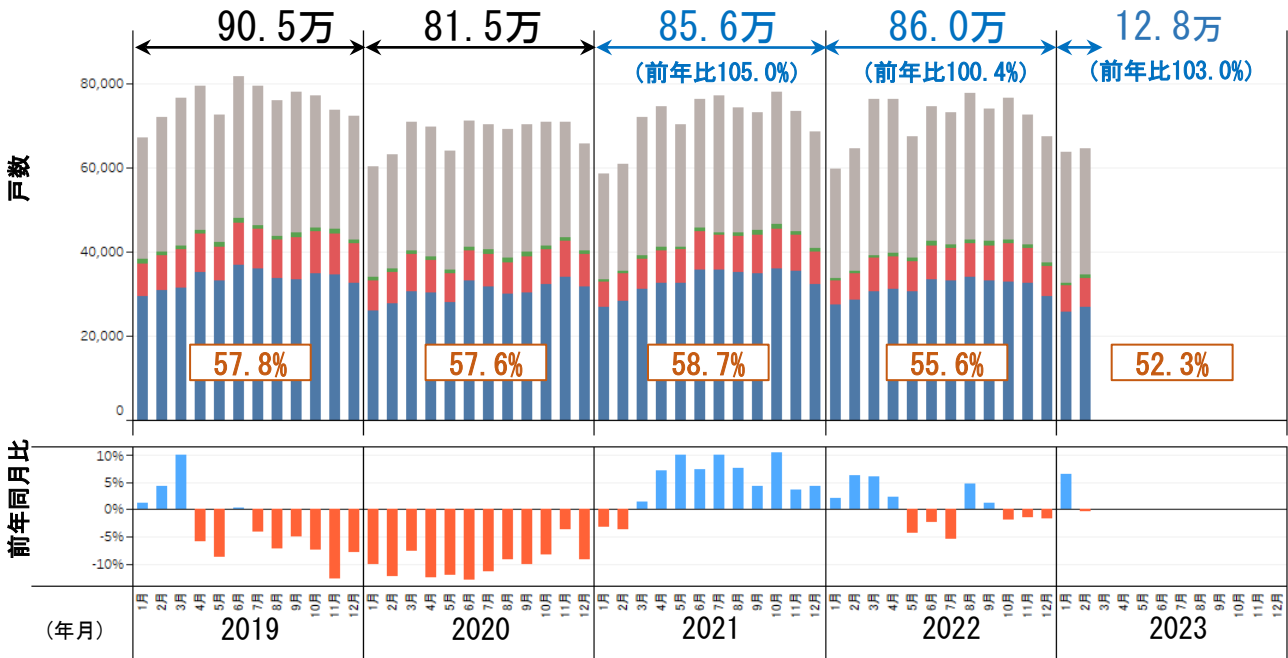
農水省HP



IPCCのHP

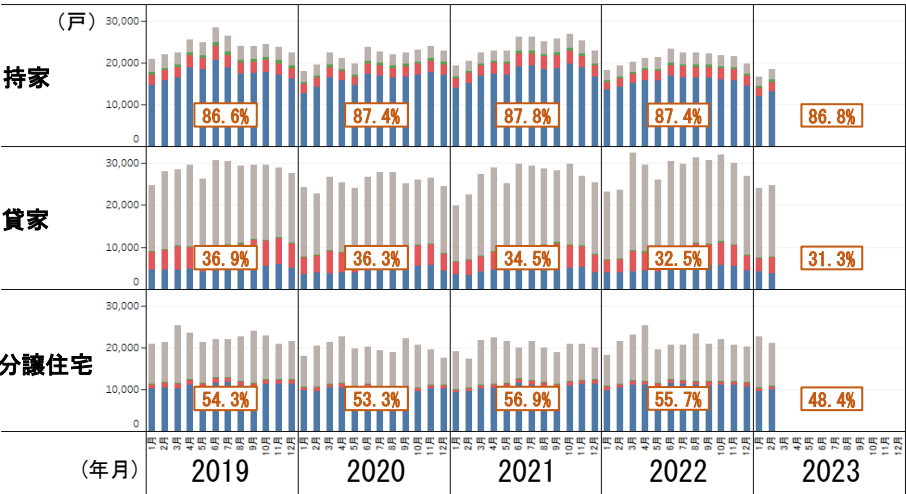
基礎的指標- 1 新設住宅着工戸数

- 2022年の新設住宅着工戸数は、86.0万戸（前年比100.4%）、このうち木造住宅は47.8万戸（同95.1%）
- 2023年1～2月の新設住宅着工戸数は、12.8万戸（前年同期比103.0%）、このうち木造住宅は6.7万戸（同96.9%）。



(単位：戸)

構造別の 着工戸数	2023年 1～2月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	128,030	124,304	103.0%	119,212	107.4%
■非木造	61,031	55,183	110.6%	50,364	121.2%
木造	66,999	69,121	96.9%	68,848	97.3%
■木造プレハブ	1,527	1,263	120.9%	1,349	113.2%
■2×4	12,911	12,048	107.2%	12,508	103.2%
■在来軸組	52,561	55,810	94.2%	54,991	95.6%
□木造率	52.3%	55.6%		57.8%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

(単位:千戸、%)

年・月		合計		木造								非木造		木造率	戸数 年率季節調整値	
				計	在来軸組		2×4		プレハブ							
				前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比					
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
	7	73	95	42	93	33	93	7.6	92	1.0	116	31	96	57.2	825	89
	8	78	105	43	96	34	97	8.0	93	1.0	103	35	117	55.2	903	106
	9	74	101	42	94	33	95	8.4	91	0.9	80	32	113	57.3	858	101
	10	77	98	43	92	33	92	8.9	95	1.0	96	34	107	55.9	867	97
	11	72	99	42	93	33	92	8.2	97	1.0	97	31	107	57.7	842	99
	12	67	98	37	91	29	91	7.1	91	0.8	101	30	108	55.6	846	101
2023年	1	64	107	33	96	26	94	6.1	105	0.7	124	31	120	51.1	893	109
	2	64	100	34	97	27	94	6.8	109	0.8	119	30	102	53.5	859	99
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	853	97
	第3四半期	225	100	127	95	100	95	24	92	2.8	98	98	108	56.5	862	98
	第4四半期	216	98	122	92	95	92	24	94	2.8	98	94	107	56.4	851	99

資料:国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用関係別・資金別）

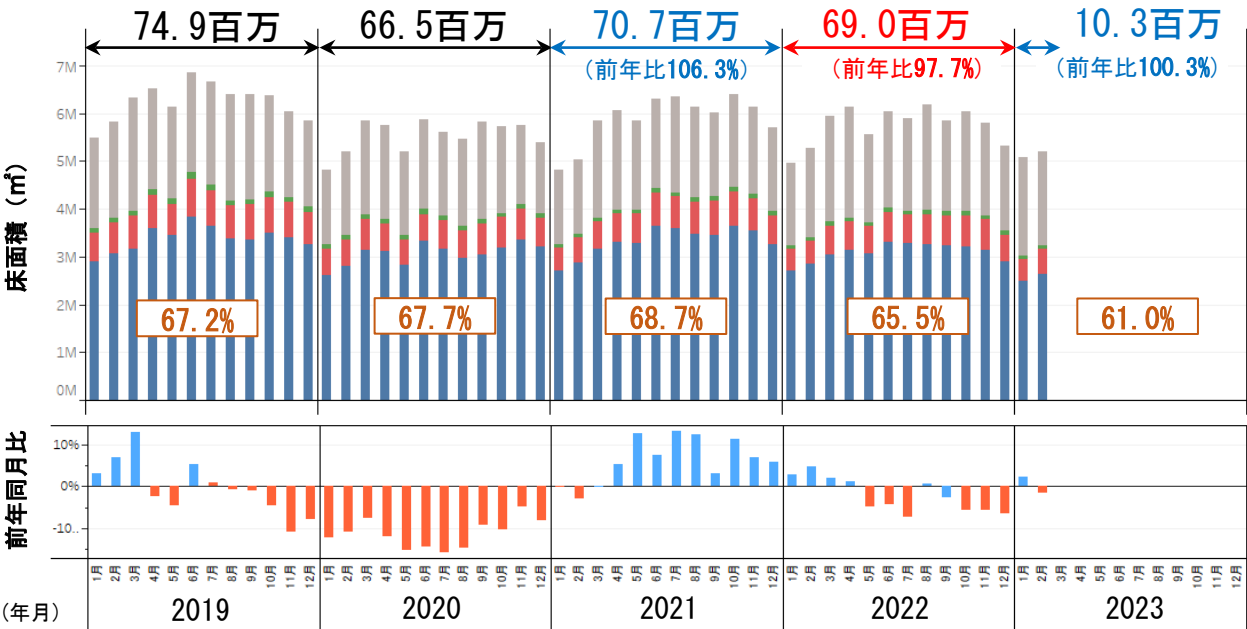
（単位：千戸、％）

年・月		合計			利用関係別										資金別				
					持家		貸家		給与		分譲				民間		公的		
					前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	104	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
	7	73	95	22	86	30	102	0.3	74	21	96	12	102	8	88	66	94	7	102
	8	78	105	22	89	31	109	1.0	179	23	116	12	105	11	133	71	105	7	101
	9	74	101	22	87	31	108	0.4	86	21	110	12	107	8	115	68	102	6	92
	10	77	98	22	81	32	107	0.9	182	22	105	12	101	9	110	68	96	8	117
	11	72	99	22	85	30	111	0.3	76	21	99	12	99	8	99	65	97	7	113
	12	67	98	20	87	27	106	0.4	85	20	101	12	94	8	114	61	98	6	106
2023年	1	64	107	17	92	24	104	0.2	74	23	125	11	96	12	170	56	103	7	149
	2	64	100	18	95	25	105	0.3	95	21	98	11	97	10	100	60	100	5	93
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88
	第3四半期	225	100	67	87	92	106	1.6	119	65	107	37	104	27	111	205	100	20	99
	第4四半期	216	98	63	84	89	108	1.7	116	63	102	37	98	26	108	195	97	21	113

資料：国土交通省「住宅着工統計」

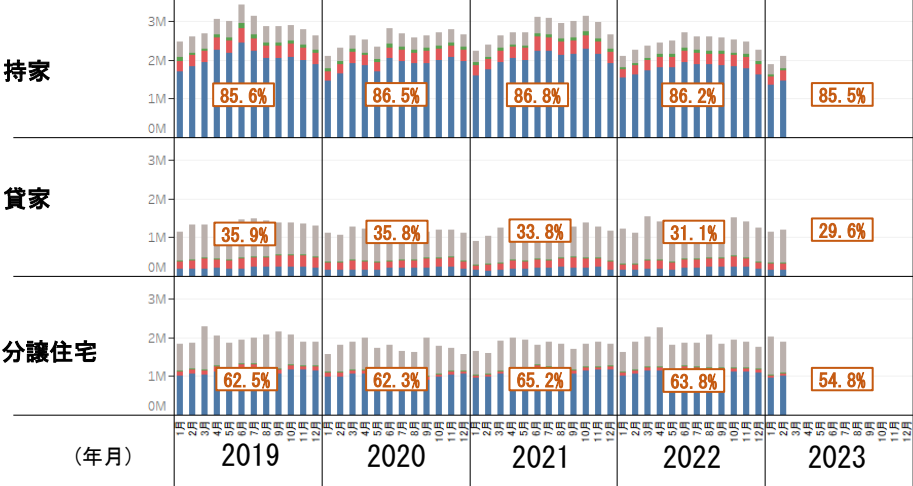
基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

- 2022年の新設住宅着工床面積は、69.0百万㎡（前年比97.7%）、このうち木造住宅は45.2百万㎡（同93.0%）。
- 2023年1～2月の新設住宅着工床面積は、10.3百万㎡（前年同期比100.3%）、このうち木造住宅は6.3百万㎡（同94.3%）。



(単位：千㎡)					
構造別の 着工床面積	2023年 1～2月	2022年 同期	2022年 同期比	2021年 同期	2021年 同期比
合計	10,277	10,250	100.3%	9,870	104.1%
■非木造	4,007	3,602	111.2%	3,132	127.9%
木造	6,270	6,647	94.3%	6,739	93.0%
■木造プレハブ	148	130	113.7%	139	106.4%
■2×4	1,008	957	105.3%	1,014	99.4%
■在来軸組	5,114	5,561	92.0%	5,586	91.6%
□木造率	61.0%	64.9%		68.3%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

基礎的指標-2

(単位:千㎡、%)

年・月		合計		木造								非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)
				計	前年 比	在来軸組	前年 比	2×4	前年 比	プレハブ	前年 比				
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,134	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,323	112	62.1	96.0
	5	5,566	95	3,713	93	3,075	94	563	90	75	96	1,854	99	66.7	96.6
	6	6,029	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,995	108	66.9	95.2
	7	5,886	93	3,963	91	3,276	91	598	91	88	104	1,923	96	67.3	94.9
	8	6,180	101	3,970	93	3,269	94	606	90	94	94	2,210	116	64.2	92.5
	9	5,848	97	3,948	93	3,225	93	635	91	88	84	1,901	109	67.5	93.1
	10	6,030	94	3,958	89	3,201	88	664	93	93	86	2,072	108	65.6	92.4
	11	5,806	95	3,870	90	3,152	89	625	95	93	96	1,936	106	66.7	92.7
	12	5,328	93	3,543	90	2,896	89	562	92	84	100	1,786	102	66.5	94.8
2023年	1	5,075	102	3,028	94	2,482	92	478	103	68	117	2,048	118	59.7	93.1
	2	5,201	98	3,243	95	2,633	92	530	108	80	111	1,959	105	62.3	94.0
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2022年計		69,010	98	45,184	93	37,153	93	7,027	93	1,004	94	23,826	108	65.5	94.5
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,729	97	11,558	93	9,519	93	1,785	92	254	95	6,171	107	65.2	95.9
	第3四半期	17,914	97	11,880	92	9,770	93	1,840	91	270	93	6,034	107	66.3	93.5
	第4四半期	17,164	94	11,370	89	9,250	88	1,850	93	270	93	5,794	105	66.2	93.2

資料:国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（利用關係別・資金別）

(単位:千 m^2 、%)

年・月		合計		利用関係別										資金別			
				持家		貸家		給与		分譲				民間		公的	
		前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	一戸建	前年 比								
2019年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
2020年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
	2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
	3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
	4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86
2021年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104
	10	6,390	111	3,141	116	1,384	116	35	72	1,829	102	1,278	116	5,763	112	627	109
	11	6,143	107	2,965	106	1,269	106	28	79	1,881	110	1,298	110	5,565	108	578	98
	12	5,702	106	2,647	99	1,175	106	36	92	1,844	117	1,316	112	5,177	108	525	91
2022年	1	4,968	103	2,108	94	1,216	133	23	101	1,620	98	1,135	107	4,513	104	454	92
	2	5,282	105	2,250	94	1,115	108	26	90	1,892	118	1,200	110	4,801	107	481	83
	3	5,953	102	2,371	90	1,531	121	28	108	2,023	106	1,285	109	5,403	103	550	92
	4	6,134	101	2,455	91	1,399	104	32	133	2,248	113	1,286	107	5,617	103	517	88
	5	5,566	95	2,504	92	1,228	107	30	81	1,804	92	1,230	100	5,060	96	506	84
	6	6,029	96	2,715	87	1,423	105	35	112	1,856	103	1,305	99	5,470	96	559	92
	7	5,886	93	2,613	85	1,396	103	27	111	1,850	98	1,284	101	5,287	92	599	99
	8	6,180	101	2,596	88	1,442	109	58	155	2,083	113	1,272	104	5,582	101	598	95
	9	5,848	97	2,575	86	1,404	109	31	96	1,839	108	1,267	106	5,333	98	515	92
	10	6,030	94	2,519	80	1,511	109	51	147	1,949	107	1,278	100	5,327	92	703	112
	11	5,806	95	2,475	83	1,414	111	31	108	1,886	100	1,267	98	5,244	94	561	97
	12	5,328	93	2,269	86	1,259	107	34	95	1,766	96	1,228	93	4,801	93	527	100
2023年	1	5,075	102	1,898	90	1,131	93	22	95	2,025	125	1,083	95	4,421	98	655	144
	2	5,201	98	2,098	93	1,191	107	24	93	1,888	100	1,145	95	4,767	99	434	90
2019年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97
2020年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84
2021年計		70,666	106	33,558	109	14,839	105	364	84	21,906	104	14,664	108	63,679	107	6,988	98
2022年計		69,010	98	29,450	88	16,338	110	407	112	22,815	104	15,036	103	62,440	98	6,570	94
2019年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91
2020年	第1四半期	15,863	90	7,049	91	3,460	91	102	89	5,252	88	3,476	96	13,990	89	1,873	94
	第2四半期	16,815	86	7,671	81	3,518	86	99	80	5,527	95	3,499	89	14,992	87	1,823	82
	第3四半期	16,907	87	7,914	89	3,625	84	110	121	5,258	85	3,147	81	15,204	88	1,703	77
	第4四半期	16,870	92	8,169	98	3,498	87	123	135	5,080	87	3,463	88	15,130	94	1,740	83
2021年	第1四半期	15,708	99	7,256	103	3,204	93	78	77	5,171	98	3,330	96	14,040	100	1,668	89
	第2四半期	18,211	108	8,526	111	3,841	109	93	94	5,751	104	3,743	107	16,413	109	1,798	99
	第3四半期	18,512	109	9,023	114	3,966	109	95	86	5,429	103	3,700	118	16,720	110	1,792	105
	第4四半期	18,235	108	8,753	107	3,828	109	99	80	5,554	109	3,891	112	16,505	109	1,730	99
2022年	第1四半期	16,203	103	6,730	93	3,861	121	77	99	5,535	107	3,620	109	14,717	105	1,486	89
	第2四半期	17,729	97	7,674	90	4,050	105	97	105	5,908	103	3,820	102	16,148	98	1,582	88
	第3四半期	17,914	97	7,783	86	4,242	107	117	123	5,772	106	3,822	103	16,202	97	1,712	96
	第4四半期	17,164	94	7,263	83	4,184	109	116	117	5,601	101	3,773	97	15,373	93	1,791	104

資料:国土交通省「住宅着工統計」

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
			前年比		前年比		前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

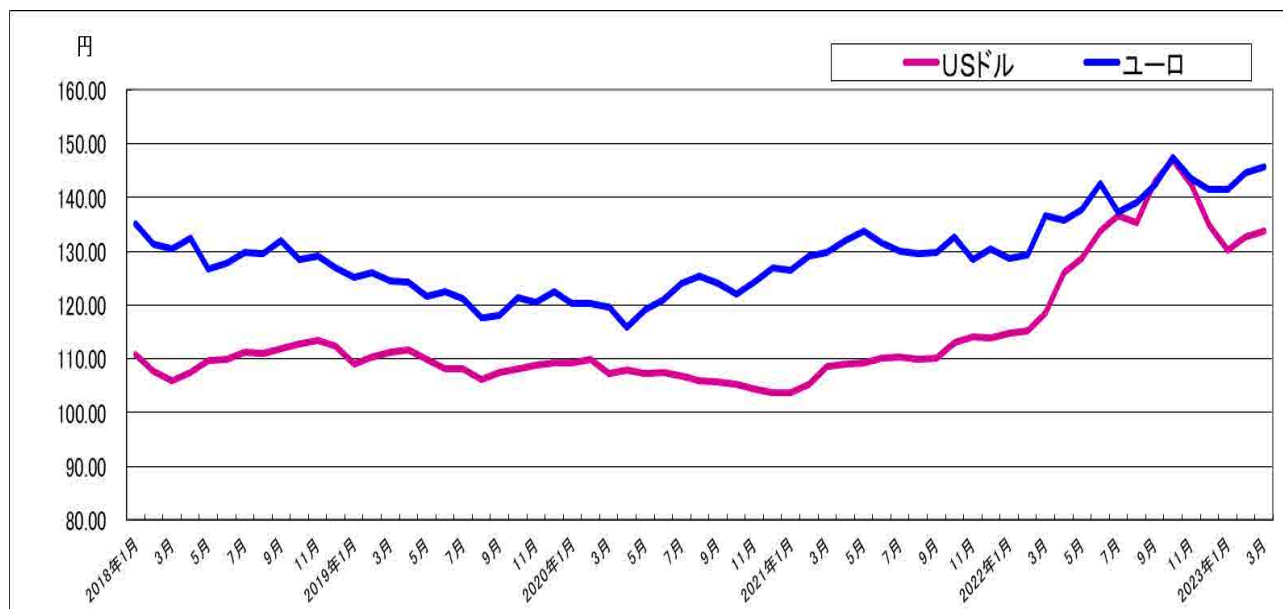
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2022年は、木材産業の倒産件数が13件（前年比68%）、負債金額が7,645百万円（同177%）。
- 2023年1～2月は、木材産業の倒産件数が4件（前年同期比400%）、負債金額が384百万円（同2,954%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2020年	1	773	116	124,734	74	0	—	0	—
	2	651	111	71,283	36	0	—	0	—
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	—	180	—
	2	446	69	67,490	95	0	—	0	—
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	—	0	—
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	—	0	—
	11	510	90	94,101	92	0	—	0	—
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	—	0	—
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	—	0	—
	7	494	104	84,570	118	0	—	0	—
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
	9	599	119	144,871	159	1	50	45	20
	10	596	114	86,995	88	1	—	200	—
	11	581	114	115,589	123	1	—	86	—
	12	606	120	79,172	85	1	100	331	331
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	—	154	—
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2022年計		6,428	107	2,331,443	203	13	68	7,645	177
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89
	第3四半期	1,585	110	340,869	135	2	67	1,925	802
	第4四半期	1,783	116	281,756	99	3	300	617	617

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2023年3月の為替相場は、1ドル133.85円、1ユーロ145.72円。



(単位:円)

年 月	USドル	ユーロ
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95

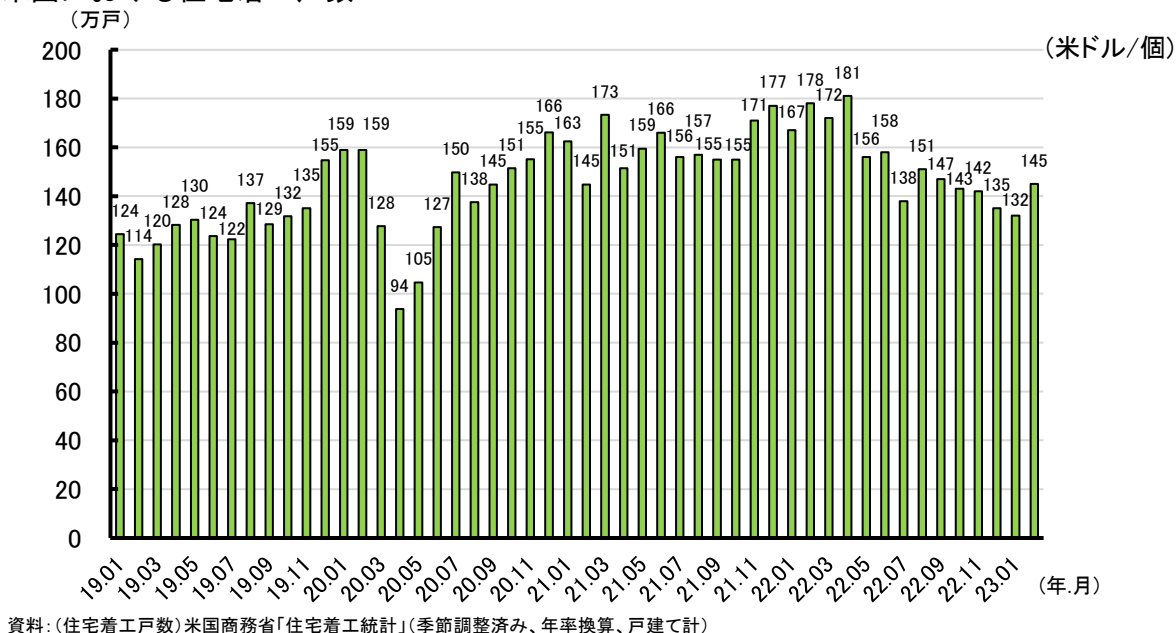
(単位:円)

年 月	USドル	ユーロ
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32
10月	147.01	147.59
11月	142.44	143.58
12月	134.93	141.47
2023年1月	130.20	141.56
2月	132.68	144.61
3月	133.85	145.72

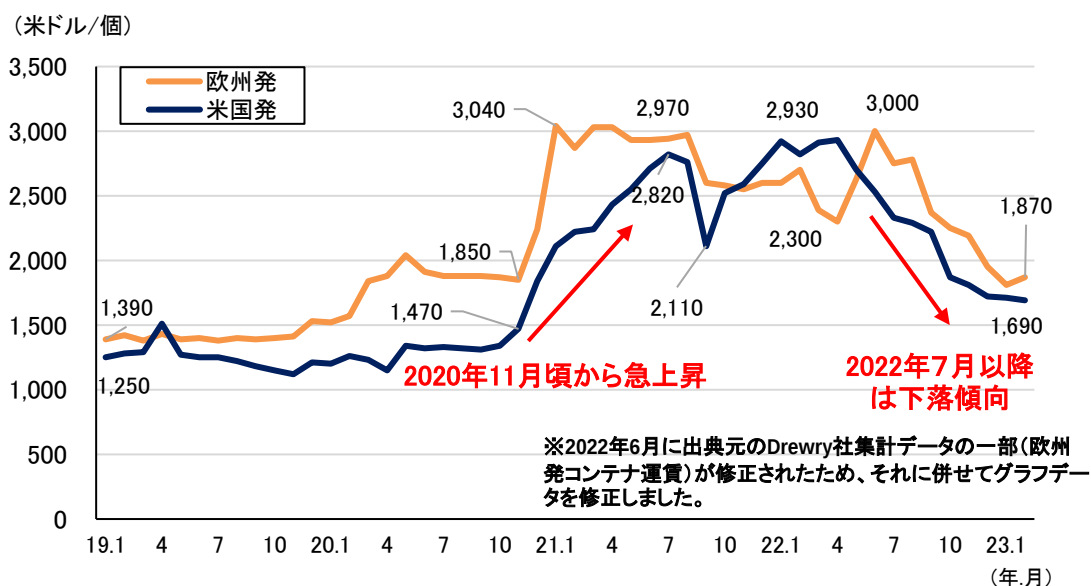
資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続いていたが、2023年2月は前月比110%の145万戸となった。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、2022年7月以降は下落傾向が続いている。

○米国における住宅着工戸数



○日本向けコンテナ運賃の推移



注: 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

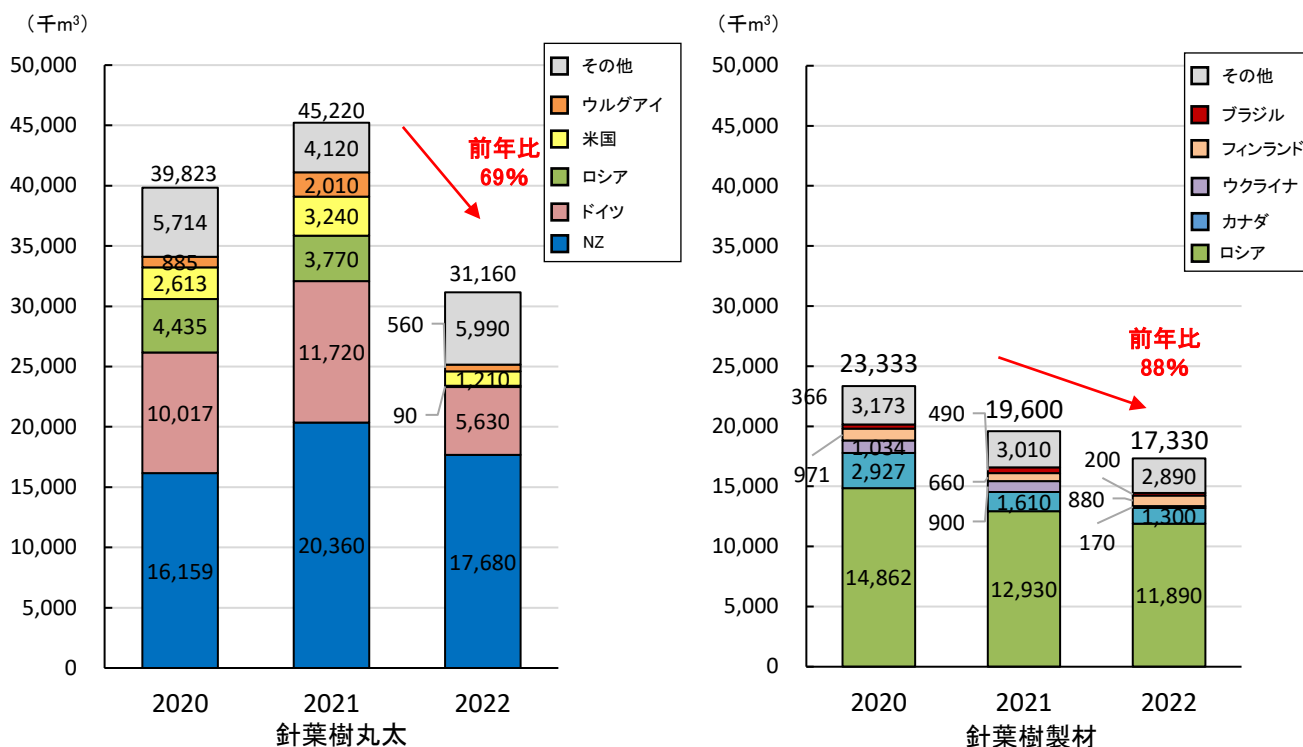
出典: Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

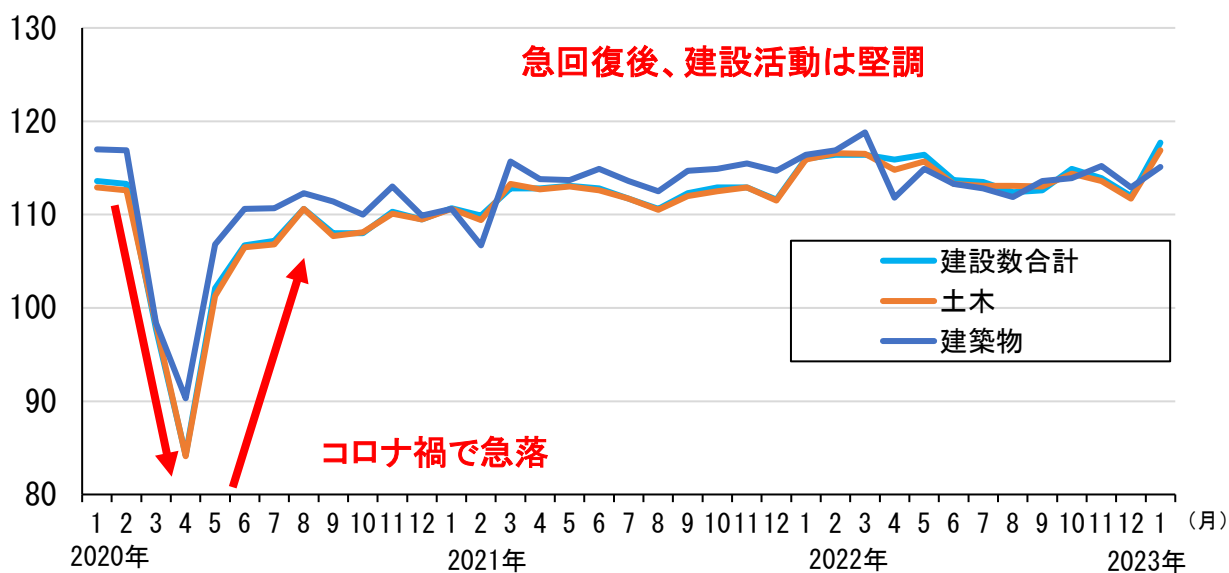
- 2022年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比69%の31,160千m³。針葉樹製材輸入量は、前年比88%の17,330千m³。輸入量減少の主な要因として、産地側の事情とともに、中国当局による新型コロナウイルス感染防止のためのロックダウン（都市封鎖）に伴う総需要量の後退が影響。
- EUでは、コロナ禍により、2020年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量（2020年～2022年）



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5)、Vol 27 (3) (4))

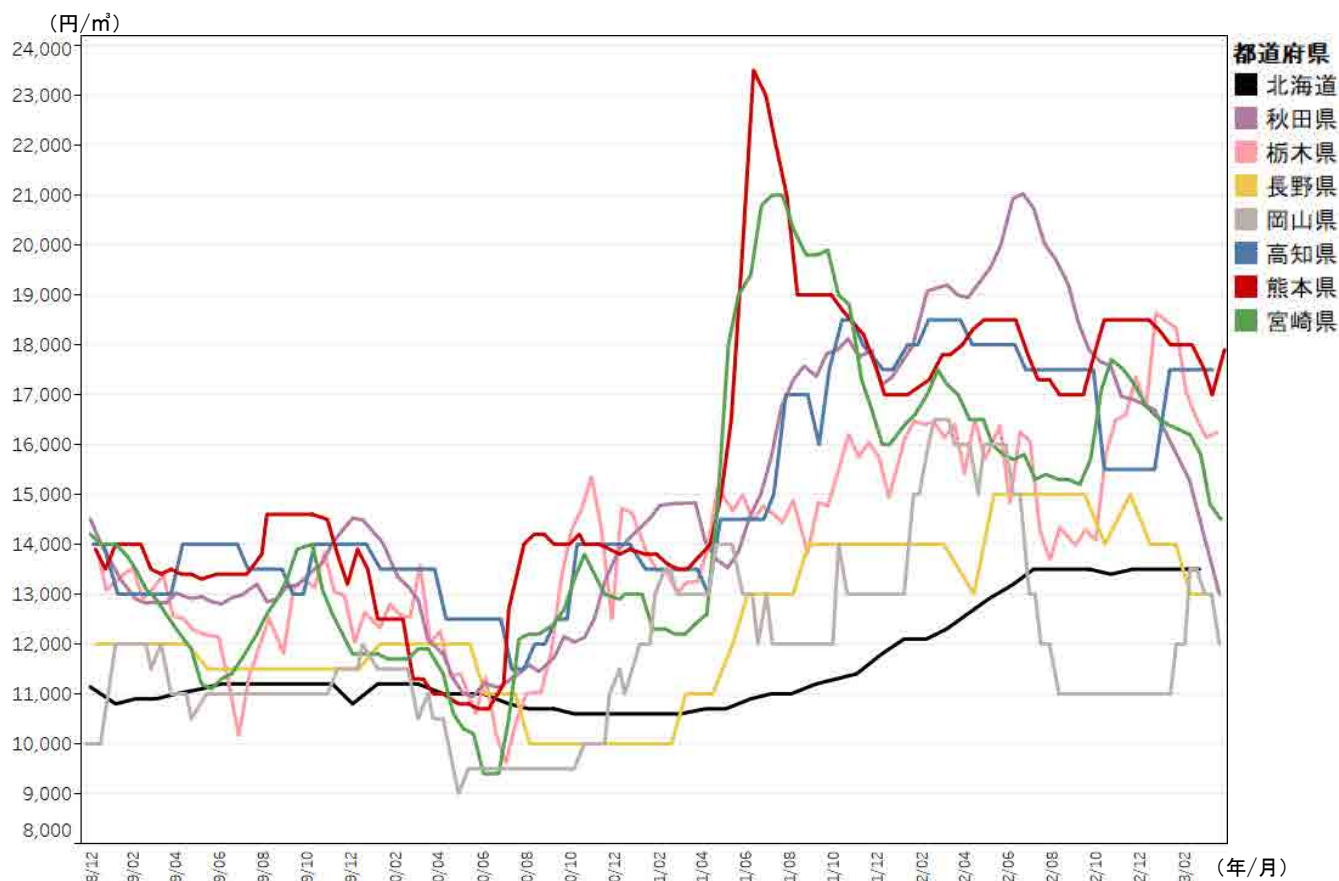
○EUにおける建設活動水準（2015年比）
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報- 1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～17,900円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2023年 直近※	前年 同期	前年 同期比
■ 北海道	13,500	12,100	112%
■ 秋田県	13,000	18,990	68%
■ 栃木県	16,240	16,410	99%
■ 長野県	13,000	14,000	93%
■ 岡山県	12,000	16,000	75%
■ 高知県	17,500	18,500	95%
■ 熊本県	17,900	18,000	99%
■ 宮崎県	14,500	17,000	85%

※北海道については2月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については3月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、17,000円～23,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2023年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	21,250	26,000	82%
静岡県	20,000	24,000	83%
兵庫県	17,000	24,000	71%
岡山県	17,000	26,000	65%
広島県	18,500	24,000	77%
愛媛県	23,000	28,100	82%
高知県	23,000	28,000	82%
熊本県	19,600	24,700	79%
大分県	20,300	24,200	84%

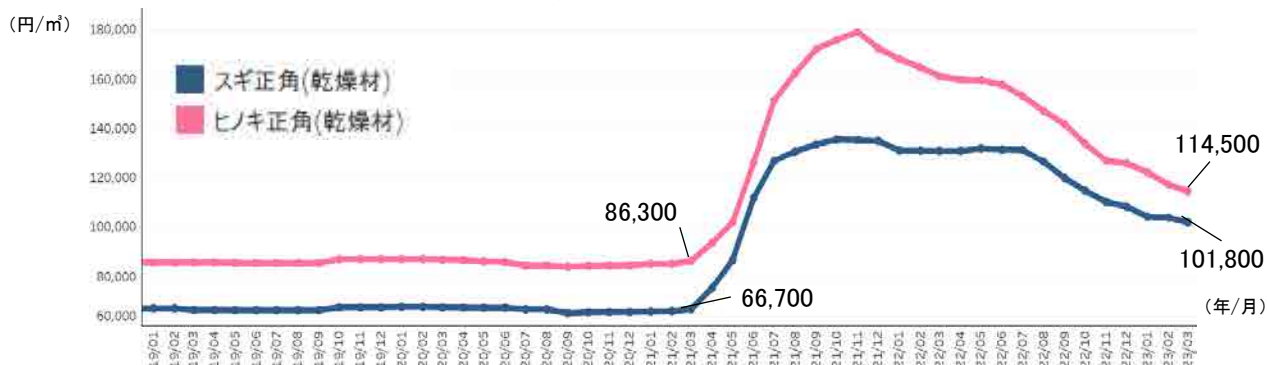
※各県3月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

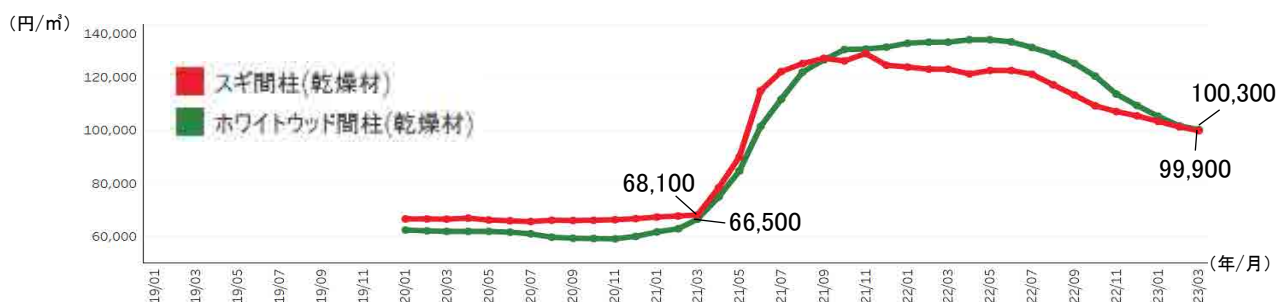
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック（2021年3月）以前と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2023年3月の正角（乾燥材）の価格について、スギは101,800円/m³（前年同期比78%）、ヒノキは114,500円/m³（同71%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは99,900円/m³（前年同期比81%）、ホワイトウッドは100,300円/m³（同75%）。
- 同月の針葉樹合板の価格は、2,210円/枚（前年同期比107%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

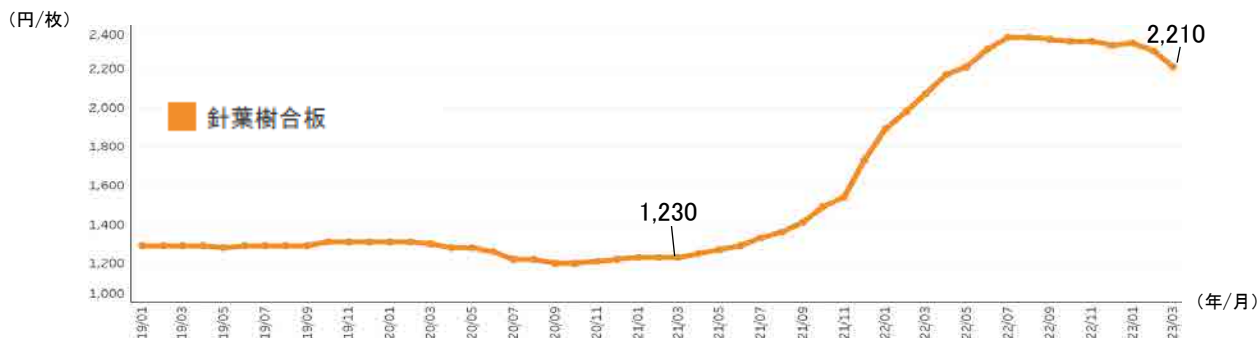
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

3 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(1) 全国平均価格

年次	月	丸 太								製 材 品													
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		ミツガ		スギ		ホワイトウッド	
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		正角(防虫処理材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)	
		14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/㎡)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	10.5cm角 4.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm 3.0m (円/㎡)	対前 年比 (%)
2020年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900		66,600		62,400	
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,800		66,600		62,100	
	3	12,800	93	17,800	96	12,700	102	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800		66,500		61,900	
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800		66,900		61,900	
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700		66,200		61,900	
	6	11,600	90	15,900	91	12,500	102	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600		65,900		61,600	
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500		65,600		61,000	
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500		66,100		59,700	
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300		66,000		59,300	
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300		66,100		59,200	
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300		66,300		59,100	
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300		66,700		60,000	
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	67,300	101	61,700	99
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	67,700	102	62,900	101
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	68,100	102	66,500	107
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	78,400	117	74,900	121
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	90,000	136	84,700	137
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	115,000	175	101,500	165
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	122,200	186	111,800	183
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	68,900 ^(注1)	-	130,600	196 ^(注2)	93,700 ^(注2)	-	162,300	192	126,700	159	125,200	189	122,000	204
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	-	133,500	205	99,700	-	172,000	205	135,300	171	127,200	193	126,600	213
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	-	135,500	207	96,200	-	175,700	208	136,600	172	126,200	191	130,500	220
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	-	135,300	206	96,200	-	179,000	212	136,100	172	129,000	195	130,700	221
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,900	128	67,800	-	134,900	206	95,500	-	172,300	204	136,100	172	124,600	187	131,400	219
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	67,600 ^(注1)	-	131,000	199	94,800 ^(注3)	-	168,000	197	139,200	175	123,900	184	132,900	215
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	-	130,900	199	94,100	-	164,600	193	139,300	175	123,100	182	133,300	212
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	-	130,800	196	93,400	-	161,100	187	139,300	171	123,100	181	133,300	200
	4	17,500	129	27,200	137	15,000	121	16,000	142	65,900	-	130,800	174	93,800	-	159,600	171	141,400	162	121,300	155	134,200	179
	5	17,900	115	26,500	124	16,000	128	16,100	141	65,900	-	131,800	152	93,400	-	159,400	157	142,100	151	122,600	136	134,200	158
	6	17,800	102	25,900	103	17,300	132	16,100	135	65,900	-	131,400	118	92,000	-	157,700	125	143,100	138	122,600	107	133,400	131
	7	17,500	98	25,300	84	17,000	127	16,200	135	65,900	-	131,200	104	91,200	-	153,000	101	143,500	121	121,200	99	131,300	117
	8	17,400	96	24,000	75	17,000	126	15,900	129	64,600	94	126,400	97	89,300	95	147,000	91	143,100	113	117,200	94	128,800	106
	9	17,400	96	21,900	68	16,900	122	15,700	127	63,500	92	119,800	90	88,400	89	141,600	82	142,400	105	113,300	89	125,300	99
	10	18,000	100	21,600	65	16,900	122	15,600	123	61,700	89	114,700	85	86,700	90	133,800	76	141,800	104	109,300	87	120,500	92
	11	17,800	102	22,100	69	16,700	119	15,400	115	61,700	90	110,200	81	85,900	89	126,800	71	141,200	104	107,100	83	113,700	87
	12	17,500	102	22,000	76	16,700	119	15,400	111	60,500	89	108,300	80	84,800	89	125,800	73	140,700	103	105,500	85	109,400	83
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	140,200	101	103,400	83	105,300	79
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	85.8	117,100	71	136,000	97.6	101,300	82	101,700	76
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	134,600	97	99,900	81	100,300	75
2020年		12,700	94	17,200	95	12,500	101	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100	79,600		66,300		60,800	
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	- ^(注2)	- ^(注2)	105,700	158 ^(注2)	- ^(注2)	- ^(注2)	132,500	155	109,600	138	103,400	156	100,400	165
2022年		17,600	109	25,100	97	16,100	122	15,700	131	64,600 ^(注2)	-	124,800	118	90,700 ^(注2)	-	149,900	113	141,400	129	117,500	114	127,500	127
2020年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800		66,600		62,100	
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700		66,300		61,800	
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	99	79,400		65,900		60,000	
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300		66,400		59,400	
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	67,700	102	63,700	103
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	94,500	143	87,000	141
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	12,200	113	- ^(注2)	- ^(注2)	130,300	197 ^(注2)	- ^(注2)	- ^{(注2)</}								

年次	月	構造用集成材						合板		チップ							
		スギ集成管柱			ホウソウ集成管柱			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		国産、無化粧			国産、無化粧			1.2×91.0cm、 1.82m /枚		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		10.5角×2.98～3m JAS (円/㎡) (参考値:注4)	(円/本)	対前 年比 (%)	10.5角×2.98～3m JAS (円/㎡) (参考値:注4)	(円/本)	対前 年比 (%)	(円/㎡)	対前 年比 (%)	(円/㎡)	対前 年比 (%)	(円/㎡)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100		60,469	2,000		1,300	101	6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000		60,469	2,000		1,280	99	6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000		60,469	2,000		1,280	100	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000		60,469	2,000		1,260	98	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100		60,469	2,000		1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100		60,469	2,000		1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100		60,469	2,000		1,200	93	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000		60,469	2,000		1,200	92	6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000		60,469	2,000		1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000		57,445	1,900		1,220	93	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	1,230	95	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	1,250	98	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	1,270	99	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	1,290	102	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	1,330	109	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	1,360	111	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	1,410	118	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	1,490	124	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,540	127	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	1,730	142	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274 ^{注1)}	1,890	154	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	2,070	168	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	2,170	174	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	2,210	174	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
	6	114,890	3,800	158	154,195	5,100	182	2,300	178	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	7	111,867	3,700	148	142,101	4,700	147	2,360	177	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	8	111,867	3,700	123	139,078	4,600	118	2,360	174	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	9	111,867	3,700	116	133,031	4,400	94	2,350	167	7,200	107	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	10	105,820	3,500	100	123,961	4,100	80	2,340	157	7,100	106	9,800	103	15,500	105	19,900	103
	11	102,797	3,400	94	120,937	4,000	78	2,340	152	7,200	107	9,900	104	15,700	107	20,200	105
	12	99,773	3,300	89	105,820	3,500	69	2,320	134	7,100	106	9,900	104	15,800	108	20,300	105
2023年	1	93,726	3,100	84	99,773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
	2	90,703	3,000	79	93,726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	3	84,656	2,800	76	87,680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		1,250	97	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	1,360	109	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2022年		111,867	3,700	137	142,101	4,700	138	2,220	163	7,000	106	9,700	102	15,300	104	19,800	103
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,270	98	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000		1,210	94	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	1,270	100	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	1,370	113	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,590	131	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
	第2四半期	114,890	3,800	173	154,195	5,100	204	2,230	176	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102
	第3四半期	111,867	3,700	128	139,078	4,600	118	2,360	172	7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
	第4四半期	102,797	3,400	94	117,914	3,900	76	2,300	145	7,100	106	9,900	104	15,700	107	20,100	104
2023年	第1四半期	90,703	3,000	81	93,726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。

- 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。
- 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。
- 2023年は「木材価格」に拠る速報値、2022年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800	17,500	17,500	17,300	17,300
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200	15,000	14,700	14,700	14,500
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,400	19,300	19,200	19,200	20,500
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400	13,200	13,000	13,200	13,000
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300	18,400	19,000	19,200	18,900
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600	15,900	16,000	15,900	16,400
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900	16,900	15,800	14,300	14,800
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000	14,000	14,000	14,000	14,300
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	16,700	16,700
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800	20,800	19,700	18,700	18,700
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100	17,100	17,100	17,000	17,000
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600	22,200	25,800	21,900	21,400
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900	18,500	18,300	18,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800	16,900	17,900	19,000	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500	17,600	18,300	18,800	18,800

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
青森	14,400	13,300	13,300
岩手	17,300	17,000	16,700
宮城	14,800	14,200	14,500
秋田	14,300	13,800	13,400
山形	20,500	20,500	20,300
福島	13,200	13,300	12,100
栃木	16,500	16,500	15,400
岐阜	18,300	18,300	17,000
静岡	18,600	18,300	18,200
三重	16,600	16,900	16,800
奈良	15,800	15,300	15,300
岡山	14,000	14,000	14,000
徳島	16,700	16,700	16,700
愛媛	18,700	18,700	18,700
佐賀	16,500	16,500	16,700
熊本	20,800	20,800	20,800
大分	17,900	18,200	17,300
宮崎	17,900	17,800	16,500
鹿児島	18,800	18,800	18,700

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100	21,500	21,400	22,900	23,000
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900	21,000	21,200	21,800	22,300
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400	26,400	26,500	26,500	25,500
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600	24,400	24,400	23,600	23,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500	26,200	25,900	27,200	26,000
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300	22,000	21,500	22,500	22,600
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200	27,100	24,900	25,000	25,000
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800	19,800	19,800	20,900	23,900
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900	22,900	22,200	22,200	21,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500	16,500	17,000	21,300	21,700
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200	21,500	20,400	19,400	19,800
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900	22,000	21,300	19,900	19,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500	22,600	21,200	20,200	20,400
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400	25,600	25,400	25,500	24,600
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700	18,700	18,700	18,400	17,500
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100	22,000	22,600	23,700	23,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
福島	25,600	25,500	23,400
茨城	23,300	23,500	22,400
栃木	25,700	25,700	24,400
岐阜	22,300	22,300	22,300
静岡	24,900	24,600	23,300
三重	23,500	23,600	23,200
兵庫	25,000	25,000	25,100
奈良	26,900	26,800	26,800
和歌山	22,000	21,900	21,800
岡山	25,900	25,100	24,500
広島	22,800	25,100	24,500
愛媛	20,000	20,200	20,700
高知	21,700	21,500	22,000
熊本	25,700	25,700	24,900
大分	18,400	17,900	18,000
宮崎	21,900	22,600	22,900

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500	15,600	15,600	15,800
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500	30,100	28,200	25,700

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道	15,500	15,400	15,400
岩手	25,700	25,700	25,600

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800	13,800	13,800	13,100
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100	16,900	16,200	16,200
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300	15,400	15,200	15,200

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
岩手	13,100	13,100	13,100
宮城	16,400	16,400	16,400
秋田	16,100	16,000	16,000
島根	15,000	15,100	15,100

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
千葉			88,000			88,000			77,300			77,300
東京			58,800			58,800			57,300			53,500
大阪			103,100			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600			56,700

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
千葉			77,000
東京			53,500
大阪			81,500
福岡			56,400

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800	96,100	95,700	95,400
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500	134,700	132,400	131,600
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800	132,400	126,800	121,000
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300	139,800	134,000	134,000
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400	110,500	109,700	108,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900	110,000	105,200	105,200
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200	128,000	122,600	119,400
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800	110,100	102,800	102,800

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
埼玉	94,400	94,400	93,300
千葉	130,800	120,200	120,200
東京	109,800	109,800	109,800
神奈川	128,700	128,300	128,200
愛知	106,900	105,700	104,300
大阪	99,700	99,000	93,600
兵庫	111,600	111,600	111,600
福岡	102,800	102,800	98,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
千葉			98,200			98,100			92,000			91,000
東京			x			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900			100,300
兵庫			116,300			114,300			106,300			95,500
福岡			82,500			86,600			84,200			82,500

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
千葉			81,100
東京			x
愛知			93,500
大阪			78,500
兵庫			95,500
福岡			82,500

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800	110,100	109,700	109,700
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100	156,100	150,200	150,200
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600	164,200	153,400	153,400
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300	151,900	146,500	145,600
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700	124,600	117,000	115,100
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000	137,800	130,600	130,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400	131,500	117,900	113,300

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
埼玉	108,400	108,400	107,200
千葉	150,200	146,800	146,800
東京	153,200	142,700	142,400
神奈川	138,900	133,700	133,600
愛知	114,900	109,800	107,200
大阪	118,900	110,700	104,400
兵庫	112,600	112,600	112,000

○ミツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道			135,700			138,000			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900			147,200
千葉			139,800			142,400			142,400			140,700
東京			154,400			154,400			154,400			154,000
神奈川			142,200			143,100			143,100			140,800
愛知			158,300			158,300			145,500			143,000
大阪			121,000			132,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800			145,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道			139,800
埼玉			141,400
千葉			131,200
東京			148,100
神奈川			138,300
愛知			132,000
大阪			132,000
兵庫			138,300

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、ミツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

木材価格情報-2

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800	99,500	96,100	96,100
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300	107,500	103,600	102,800
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900	115,400	107,500	104,800
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200	117,500	116,100	114,900
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300	106,900	106,500	102,400
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000	110,000	105,600	101,200
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600	121,200	121,100	115,700
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500	127,300	127,300	125,300
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900	104,900	104,900	104,900

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
埼玉	95,000	92,900	92,200
千葉	102,400	98,700	96,200
東京	96,800	96,700	96,500
神奈川	111,200	107,900	106,700
愛知	97,700	93,700	93,700
大阪	95,700	95,700	94,600
兵庫	110,500	110,500	105,200
広島	124,700	121,500	121,000
福岡	104,500	104,500	103,700

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500	107,800	99,900	95,200
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800	134,800	134,600	127,700	
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400	131,300	130,000	122,900
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000	125,300	121,700	121,700
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200	115,200	106,700	101,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600	110,000	104,500	99,000
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600	134,600	115,700	112,900
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400	122,400	119,700	117,600

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
埼玉	94,700	93,200	91,600
千葉	125,000	122,600	121,700
東京	121,200	120,000	119,100
神奈川	118,700	113,200	110,600
愛知	97,400	91,000	90,300
大阪	93,500	93,100	92,900
兵庫	104,500	101,600	98,800
広島	112,300	105,400	102,800

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2022年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000	3,800	3,600	3,700
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200	4,200	4,000	4,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
秋田	3,500	3,400	2,900
宮崎	3,500	3,500	3,100

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2022年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500	4,400	4,200	4,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
岡山	3,600	3,400	3,100

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2022年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
埼玉			2,220			2,420			2,390			2,350
東京			2,140			2,420			2,410			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220			2,130

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
埼玉			2,240
東京			2,300
大阪			2,040

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった

（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・ 2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300	7,300	7,400	7,400
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600	6,300	6,400	5,700
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800	7,400	7,400	7,500
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	7,200
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200	9,600	9,800	9,800
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400	6,300	5,900	6,100
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600	5,900	6,000	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100	7,400	7,600	7,400
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900	7,900	8,000	8,000
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200

・ 2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道	7,400	7,400	7,400
青森	7,000	7,000	7,000
岩手	7,300	7,300	7,300
宮城	6,000	6,000	6,000
秋田	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200
福島	6,800	6,100	5,900
栃木	5,300	5,300	5,300
山梨	7,700	8,800	8,800
長野	7,200	7,200	7,300
京都	8,900	8,900	8,900
兵庫	7,200	7,200	7,200
島根	9,400	8,500	9,500
広島	6,100	5,900	5,700
高知	5,600	5,600	5,600
熊本	8,200	9,100	8,400
宮崎	8,000	8,000	8,100
鹿児島	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・ 2022年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,400
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	9,000	9,400	9,400
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500	7,500	7,400	7,400
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,100	6,000	6,000
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100	8,900	9,100	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300	8,300	8,400	8,400
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・ 2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道	9,900	9,900	9,900
青森	12,100	12,100	12,100
岩手	11,400	11,400	11,400
宮城	9,000	9,000	9,000
秋田	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	9,000	9,600
山梨	7,500	7,500	7,500
島根	10,700	10,700	10,800
広島	6,000	6,000	6,100
熊本	8,700	9,000	8,900
宮崎	8,400	8,700	8,600
鹿児島	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体にに関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,200	15,400	15,400
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700	16,700	17,000	17,200	17,200
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	17,100	17,100
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,800	19,800
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300	16,300	16,500	16,700	16,700
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,300	21,200
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	18,000	18,000
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900	19,900	21,900	21,900	22,000
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,000
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,700	20,900
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,200	18,300	18,600
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道	15,400	15,400	15,400
青森	17,700	17,700	17,700
岩手	17,100	17,100	17,100
宮城	19,800	19,800	20,000
秋田	16,800	16,900	16,900
福島	21,200	21,200	21,200
茨城	7,500	7,500	7,500
栃木	12,800	12,800	12,800
富山	18,100	18,100	18,100
静岡	18,000	18,000	18,000
京都	22,000	22,000	22,000
兵庫	19,300	19,300	22,200
岡山	14,600	14,600	14,600
広島	16,000	16,000	16,000
徳島	21,600	21,600	21,600
愛媛	12,900	12,900	12,900
高知	20,900	20,900	20,900
熊本	18,600	18,600	18,600
大分	12,500	12,500	12,500
宮崎	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000

○木材チップ（広葉樹）

・2022年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,900	21,100	21,200
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100	19,100	19,300	19,500	19,500
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,600	19,700
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	20,500	20,500
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,800	21,400
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400	22,600	22,600	22,600	22,600
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800	19,800	19,800	19,900	20,300
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	22,800
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500	20,500	20,500	20,900	20,300
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2023年

都道府県	1 月	2 月	3 月
北海道	21,200	21,200	21,200
青森	19,800	19,800	19,800
岩手	19,700	19,700	19,700
宮城	20,500	20,500	20,900
秋田	22,000	22,200	22,200
福島	21,400	21,400	21,400
栃木	16,400	16,400	16,400
山梨	17,400	17,400	17,400
島根	22,600	22,600	22,600
広島	20,300	20,300	20,100
熊本	22,800	22,800	22,800
宮崎	21,000	21,000	21,200
鹿児島	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,879千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,938千 m^3 （同115.1%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木 材 需 要 の 動 向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製 材 用 材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合 板 用 材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パルプ・チップ用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		そ の 他 用 材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小 計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4
	しいたけ原木		246	0.3	242	0.3	4	101.7
	燃 料 材		14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1
	計		82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3
国 内 消 費	用 材	製 材 用 材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合 板 用 材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パルプ・チップ用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		そ の 他 用 材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小 計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	しいたけ原木		246	0.3	242	0.3	4	101.7
	燃 料 材		14,738	18.7	12,800	17.9	1,938	115.1
	計		78,879	100.0	71,430	100.0	7,449	110.4
輸 出	用 材	丸 太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製 材 品 等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合 板 等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木材パルプ・チップ等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		そ の 他	2	0.1	3	0.1	△ 1	66.7
		小 計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1
	燃 料 材		4	0.1	5	0.2	△ 1	80.0
	計		3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報- 1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,130千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,742千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,721千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は△218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは△198千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木 材 供 給 の 動 向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千m ³)	対前年 比 (%)		
			数量 (千m ³)	構成比 (%)	数量 (千m ³)	構成比 (%)				
総供給量	用材	丸 太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6		
		林 地 残 材	161	0.2	106	0.1	55	151.9		
		輸 入 木 材 製 品	39,136	47.7	36,106	48.5	3,030	108.4		
		小 計	67,142	81.8	61,392	82.5	5,750	109.4		
	し い た け 原 木		246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃 料 材		14,742	17.9	12,805	17.2	1,937	115.1		
	計		82,130	100.0	74,439	100.0	7,691	110.3		
国内生産	用材	丸 太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6		
		林 地 残 材	161	0.5	106	0.3	55	151.9		
		小 計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8		
	し い た け 原 木		246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃 料 材		9,348	27.7	8,927	28.7	421	104.7		
計		33,721	100.0	31,149	100.0	2,572	108.3			
輸 入	用材	木材製品	丸 太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
			製 材 品 等	合 板 等	9,903	20.5	10,121	23.4	△ 218	97.8
				木 材 パ ル プ	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
				木 材 チ ッ プ 等	4,799	9.9	4,997	11.5	△ 198	96.0
				木 材 チ ッ プ 等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
				そ の 他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
		細 計		39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4	
		小 計		43,015	88.9	39,412	91.0	3,603	109.1	
	燃 料 材		5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1		
計		48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- ・ 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- ・ 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- ・ これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量÷総需要量（※）×100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

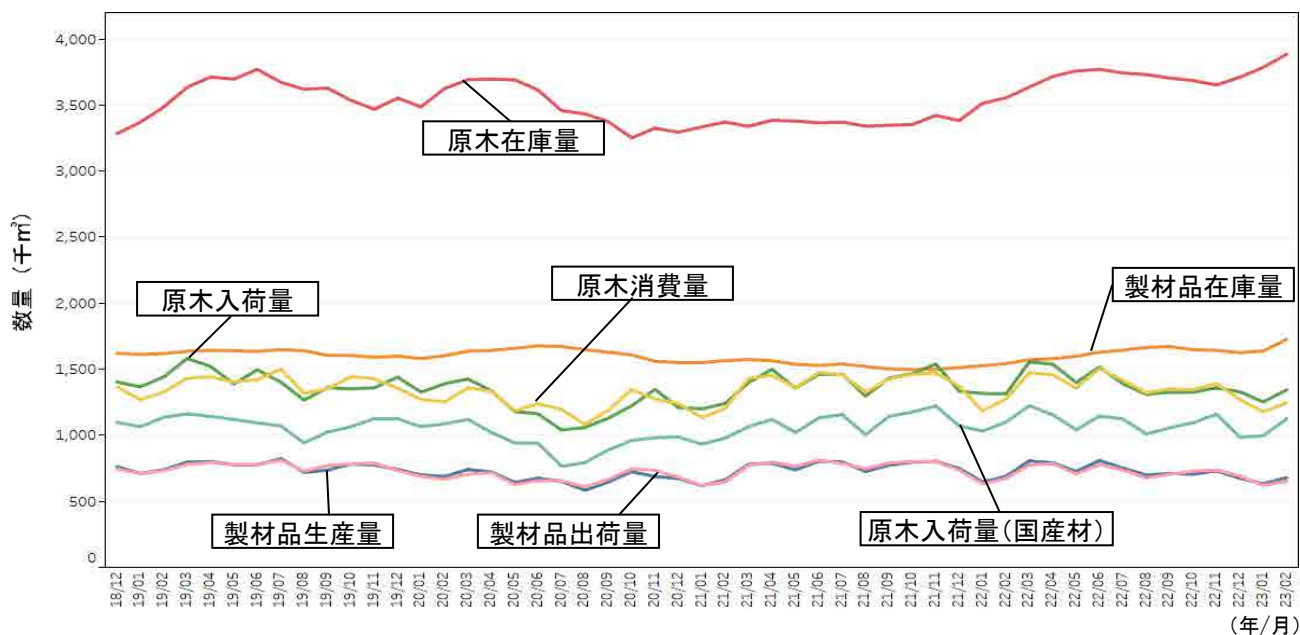
木 材 自 給 率 の 動 向

区 分			2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)
			数 量 (千m ³)	数 量 (千m ³)		
建築用材等		国 内 生 産	17,522	15,810	1,712	110.8
		輸 入	18,951	17,706	1,245	107.0
		総 需 要 量	36,473	33,516	2,957	108.8
		自 給 率	48.0%	47.2%	0.8ポ ^ン ト	
用材	製 材 用 材	国 内 生 産	12,861	11,615	1,246	110.7
		輸 入	13,318	12,982	336	102.6
	総 需 要 量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	自 給 率	49.1%	47.2%	1.9ポ ^ン ト		
	合 板 用 材	国 内 生 産	4,661	4,195	466	111.1
		輸 入	5,633	4,724	909	119.2
	総 需 要 量	10,294	8,919	1,375	115.4	
	自 給 率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポ ^ン ト		
非建築用材等		国 内 生 産	16,199	15,339	860	105.6
		輸 入	29,458	25,584	3,874	115.1
		総 需 要 量	45,658	40,923	4,735	111.6
		自 給 率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポ ^ン ト	
用材	ハ ^ル プ [・] ・チ ^ッ プ [・] 用 材	国 内 生 産	4,744	4,420	324	107.3
		輸 入	24,000	21,644	2,356	110.9
	総 需 要 量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自 給 率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポ ^ン ト		
	そ の 他 用 材	国 内 生 産	1,862	1,750	112	106.4
		輸 入	65	62	3	104.8
	総 需 要 量	1,926	1,812	114	106.3	
	自 給 率	96.6%	96.6%	0.0ポ ^ン ト		
しいたけ 原 木		国 内 生 産	246	242	4	101.7
		輸 入	-	-	-	-
		総 需 要 量	246	242	4	101.7
		自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ ^ン ト	
燃料材		国 内 生 産	9,348	8,927	421	104.7
		輸 入	5,394	3,878	1,516	139.1
		総 需 要 量	14,742	12,805	1,937	115.1
		自 給 率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポ ^ン ト	
総 数		国 内 生 産	33,721	31,149	2,572	108.3
		輸 入	48,409	43,290	5,119	111.8
		総 需 要 量	82,130	74,439	7,691	110.3
		自 給 率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポ ^ン ト	
うち 用材の計		国 内 生 産	24,127	21,980	2,147	109.8
		輸 入	43,015	39,412	3,603	109.1
		総 需 要 量	67,142	61,392	5,750	109.4
		自 給 率	35.9%	35.8%	0.1ポ ^ン ト	

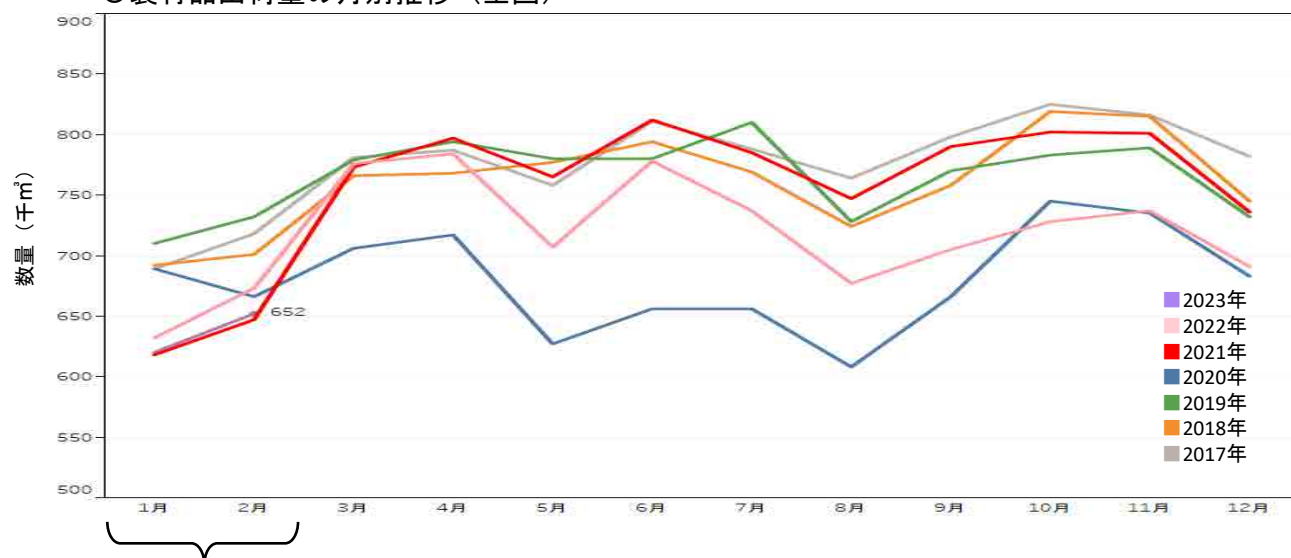
資料：林野庁「木材需給表」（2023年3月10日 修正公表）

注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

- 2023年1～2月の原木の入荷量は、2,596千 m^3 （2019年比 92%）。
- 同様に製材品の出荷量は、1,272千 m^3 （2019年比 88%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）



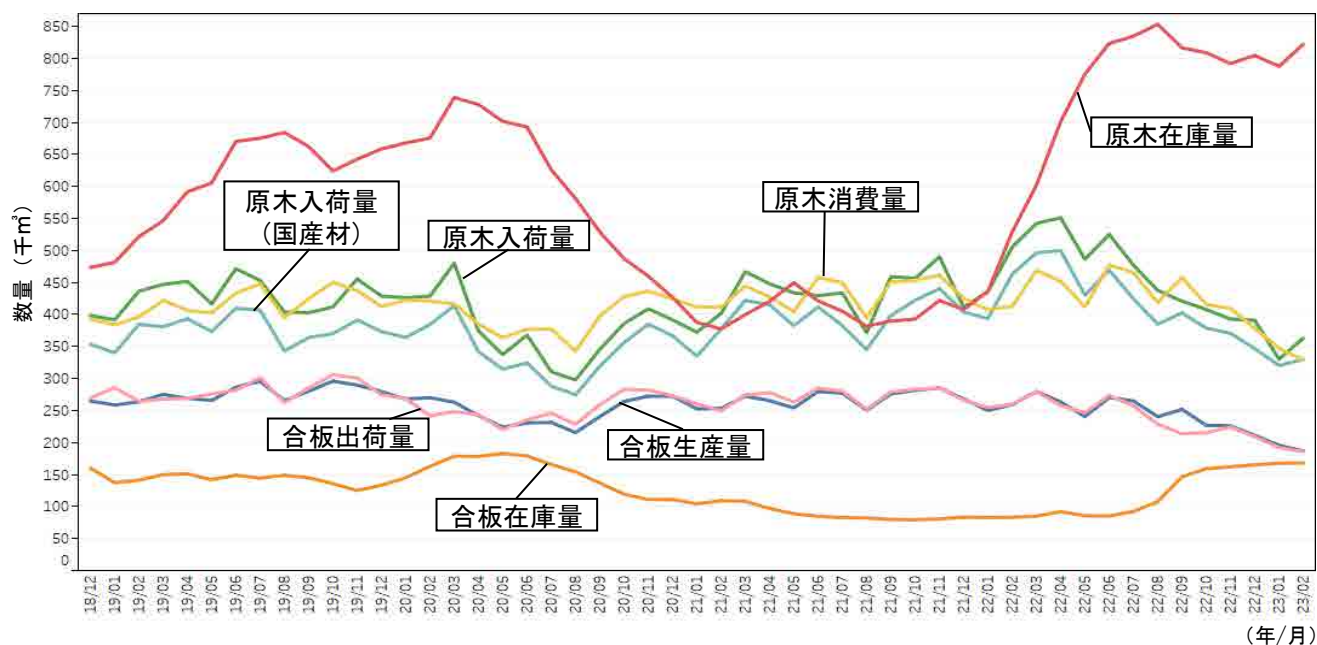
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～2月原木入荷量 合計(千 m^3)	2,666	2,622	2,808	2,715	2,441	2,630	2,596
2019年との比較※	95%	93%	—	97%	87%	94%	92%
1～2月出荷量 合計(千 m^3)	1,407	1,393	1,442	1,355	1,265	1,305	1,272
2019年との比較※	98%	97%	—	94%	88%	90%	88%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

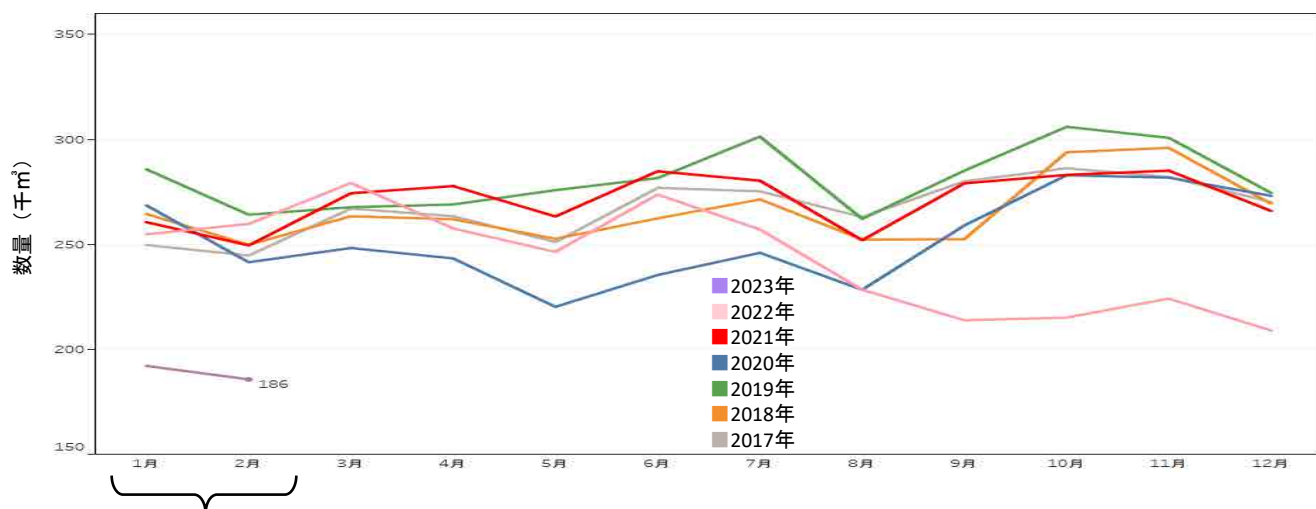
資料：農林水産省「製材統計」

木材需給情報-3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2023年1～2月の原木の入荷量は、693千 m^3 （2019年比 84%）。
- 同様に合板の出荷量は、378千 m^3 （2019年比 69%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

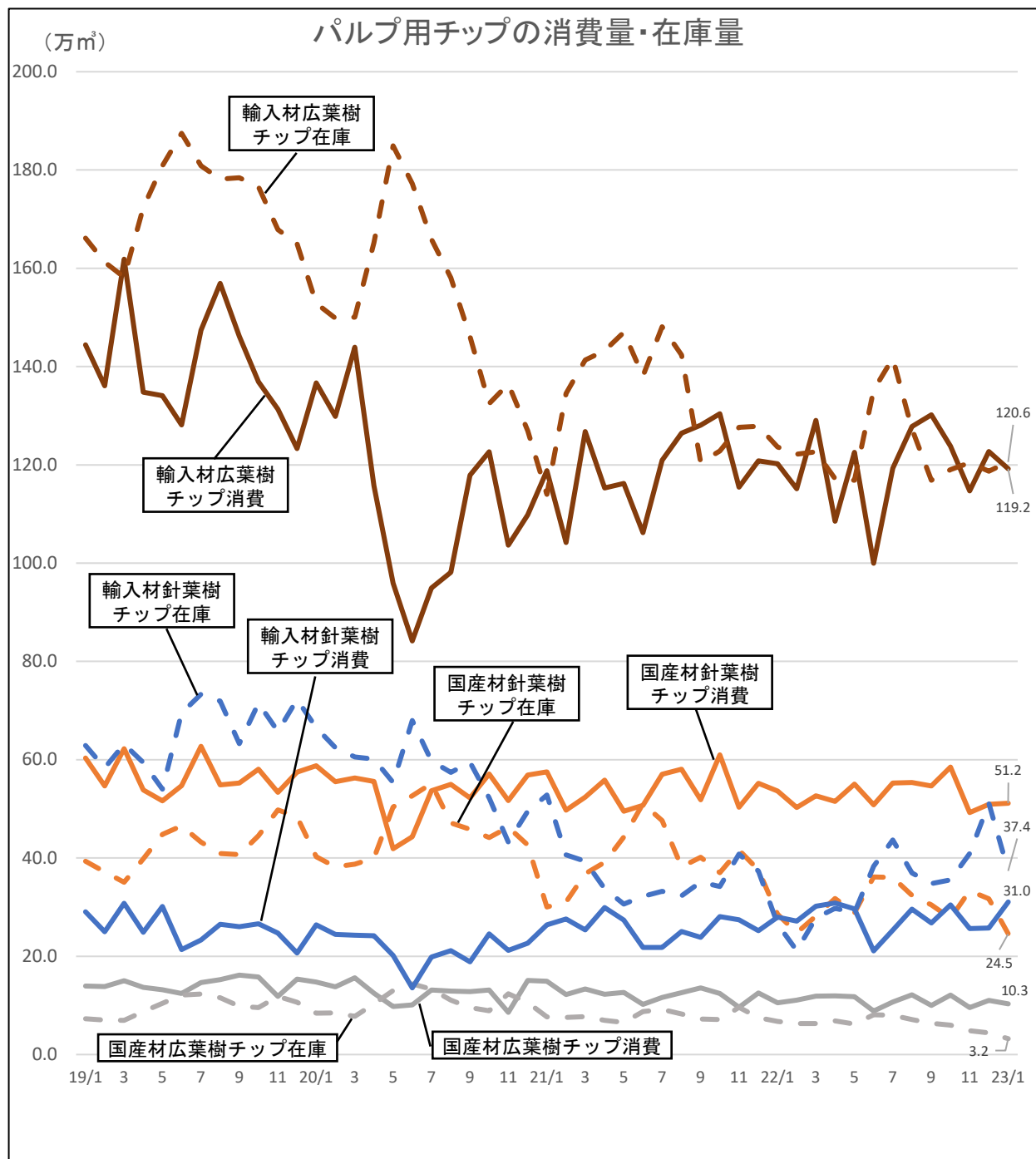


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1～2月原木入荷量 合計(千 m^3)	664	764	828	855	774	941	693
2019年との比較※	80%	92%	—	103%	93%	114%	84%
1～2月出荷量 合計(千 m^3)	494	514	550	510	510	515	378
2019年との比較※	90%	93%	—	93%	93%	94%	69%

※2019年（COVID-19の影響前）の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「合板統計」

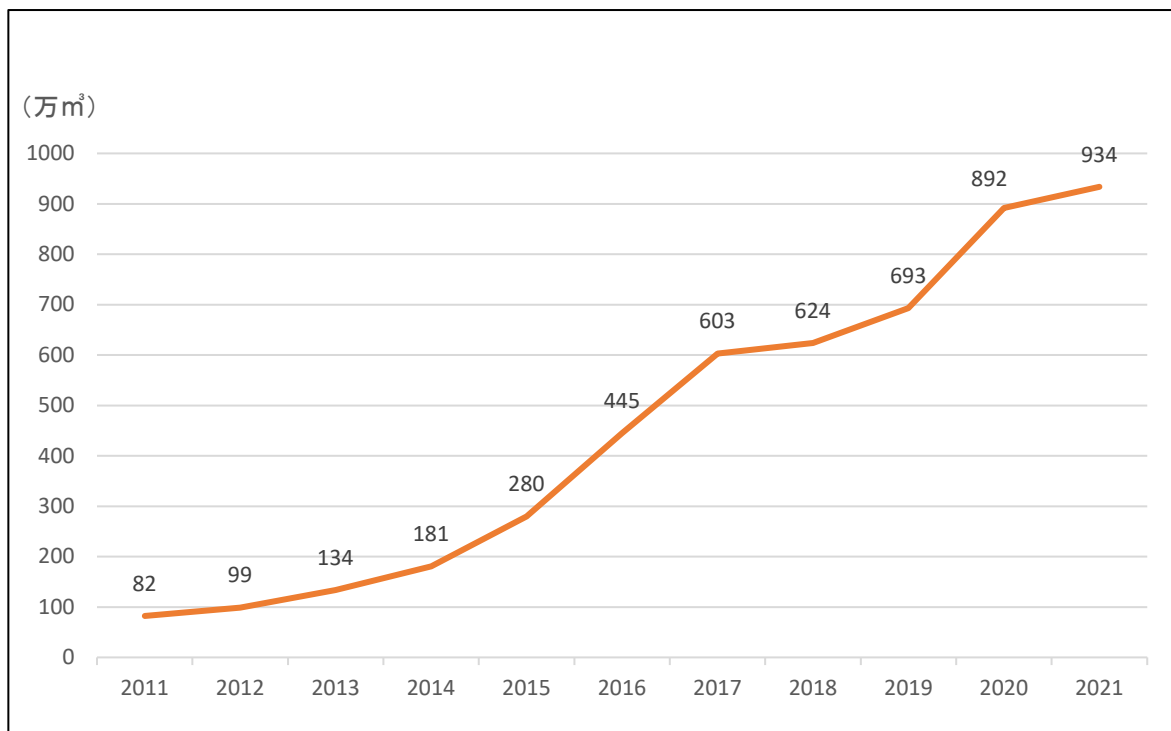
- パルプ用チップの消費について、2023年1月の輸入材広葉樹チップの消費量は119.2万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は51.2万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 2023年2月の紙の生産高は86万トン。板紙の生産高は89万トンとなっている。

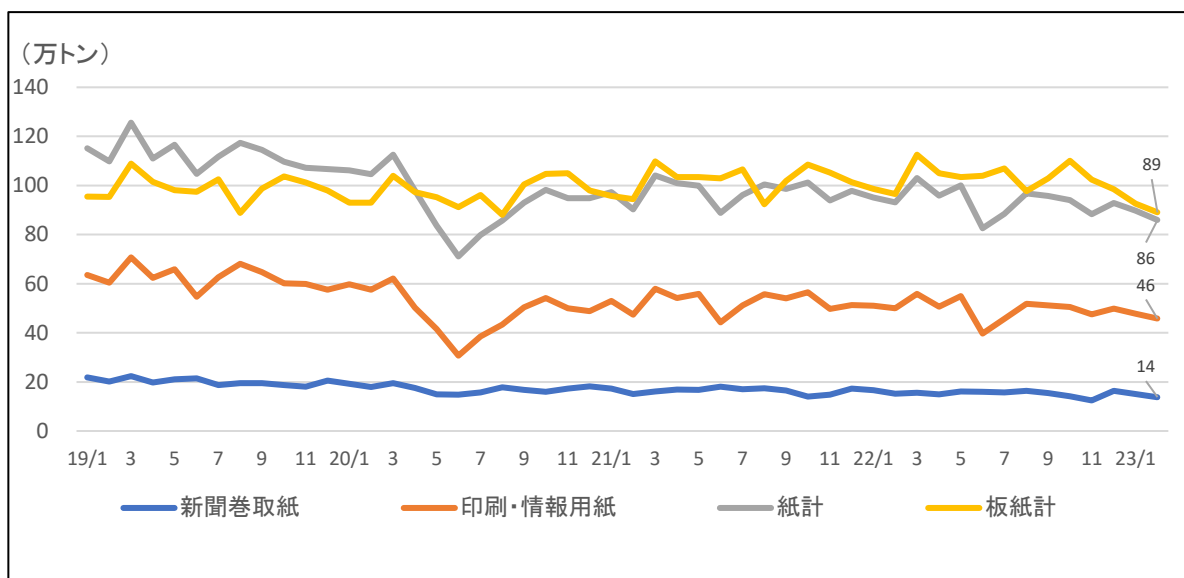
○燃料材（国内生産）の利用量の推移



資料：木材利用課調べ（～2014年）、林野庁「木材需給表」（2015年～）

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万m³。

単位：千m³

全 国 ・ 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ	ヒノキ	
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
島 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

- 2021年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は2,666億円。

単位：1,000万円

都 道 府 県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		針葉樹	スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ		
北 海 道	3,145	2,652	42	-	1	2,573	493	-
青 森	863	811	684	0	39	52	51	-
岩 手	1,498	1,264	728	4	165	365	215	-
宮 城	534	507	465	6	21	14	25	2
秋 田	1,176	1,089	1,075	0	3	12	85	-
山 形	317	312	298	0	2	13	5	-
福 島	853	765	484	211	29	37	86	-
茨 城	547	528	283	242	2	0	19	-
栃 木	851	774	453	306	6	3	70	2
群 馬	283	271	186	51	3	29	11	-
埼 玉	67	49	24	24	0	1	17	-
千 葉	43	30	22	7	-	-	11	3
東 京	41	36	20	11	-	1	5	-
神 奈 川	13	13	6	6	-	-	1	-
新 潟	140	133	132	0	0	1	6	0
富 山	118	104	92	11	0	1	14	-
石 川	135	126	101	11	3	0	9	0
福 井	116	114	108	5	1	0	2	0
山 梨	120	99	28	17	11	34	10	-
長 野	648	623	101	107	36	376	9	-
岐 阜	593	586	284	281	2	11	7	0
静 岡	638	638	189	400	1	2	0	-
愛 知	171	163	75	74	0	11	9	-
三 重	445	443	158	282	3	-	1	-
滋 賀	57	42	27	11	0	0	14	1
京 都	162	140	90	48	0	-	17	5
大 阪	x	11	5	6	0	-	x	-
兵 庫	340	324	178	141	1	0	15	0
奈 良	201	200	77	124	-	-	0	0
和 歌 山	231	224	124	98	0	-	5	2
鳥 取	262	248	167	75	5	0	14	-
島 根	385	337	210	106	13	0	48	0
岡 山	726	698	90	603	2	-	24	3
広 島	467	423	159	251	13	0	43	-
山 口	331	312	168	142	1	1	14	5
徳 島	352	346	242	104	0	-	6	0
香 川	13	10	1	10	0	-	2	0
愛 媛	809	808	383	425	0	0	-	0
高 知	702	700	281	382	0	-	2	1
福 岡	239	234	157	75	1	-	5	0
佐 賀	237	229	113	116	0	-	8	0
長 崎	195	182	72	110	-	-	13	-
熊 本	1,684	1,657	1,107	549	0	-	20	7
大 分	1,709	1,690	1,332	358	1	-	9	4
宮 崎	3,217	3,206	2,980	224	1	-	10	-
鹿 児 島	970	902	725	172	1	-	52	15
沖 縄	x	0	-	-	-	-	x	-
合 計	26,655	25,054	14,726	6,188	367	3,537	1,483	51

資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場が直接入荷するパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

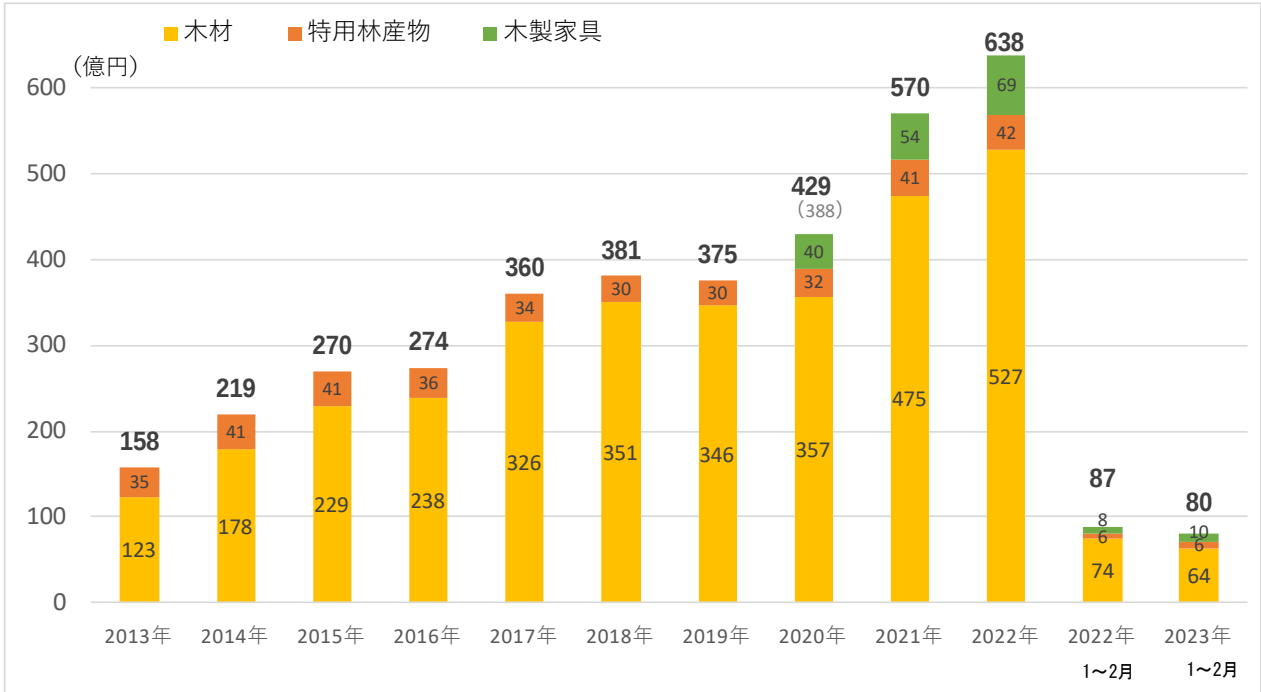
「x」：個人又は法人その他の団体にに関する秘密を保護するため、統計調査を公表していないもの

林産物輸出入情報- 1

林産物輸出額

- 令和5年2月の林産物の輸出額は47億円（前年同月比94%）となった。
- 内訳としては木材が38億円（同90%）、特用林産物が3億円（同105%）、木製家具が5億円（同132%）となった。
- 1～2月の累計は、80億円（前年同期比92%）となった。

○林産物輸出の推移



資料:財務省「貿易統計」
※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。
※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。
※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

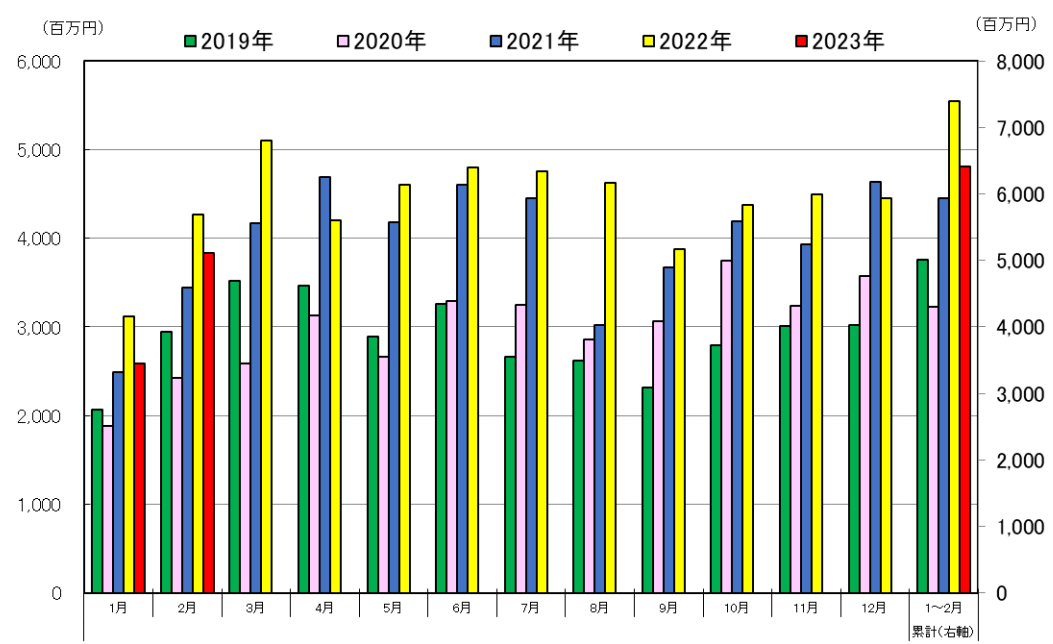
(億円)

	2022年				2023年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	37	31	3	4	33	88%	105%	26	3	4
2月	50	43	3	4	47	94%	114%	38	3	5
3月	61	51	4	6						
4月	51	42	3	5						
5月	55	46	3	5						
6月	58	48	4	6						
7月	58	48	4	7						
8月	56	46	3	6						
9月	48	39	4	6						
10月	54	44	4	6						
11月	55	45	4	7						
12月	56	45	4	7						
2月累計	87	74	6	8	80	92%	110%	64	6	10

資料:財務省貿易統計

- 2023年2月の輸出額は38.3億円（前年同月比90%）となった。
- 全体的に輸出額が減少しているが、丸太輸出では台湾の減少が大きい。特に製材輸出については、フィリピン向け輸出が大きく減少している他、韓国・米国でも輸出額が減少している。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月 2月					累計1~2月				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	1,446	91%	1,129	74	12	2,425	86%	1,847	156	17
			95%	61%	52%			85%	78%	43%
韓国	274	92%	167	47	0	503	88%	326	72	3
			103%	78%	5%			102%	85%	41%
台湾	229	80%	121	32	0	364	80%	188	67	0
			64%	61%	—			65%	72%	—
米国	424	55%	0	186	0	729	71%	0	291	0
			—	35%	—			—	43%	—
フィリピン	1,164	112%	0	48	1,033	1,750	87%	0	84	1,559
			—	13%	171%			—	13%	130%
その他	294	105%	8	44	1	643	127%	14	97	7
			62%	73%	10%			70%	108%	51%
総計	3,831	90%	1,425	432	1,046	6,414	87%	2,375	767	1,585
			91%	37%	162%			85%	42%	126%

※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）、四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



林産物輸出入情報-3 木材輸入額

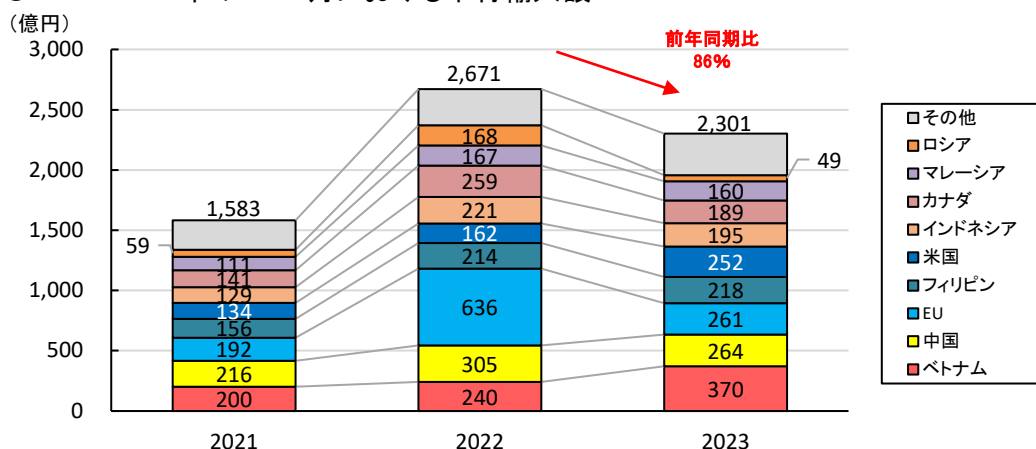
- 2023年2月の木材輸入額は、前月比82%、前年同月比は84%の1,036億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア18%）が92%、ベトナム（同12%）が60%、中国（同12%）が55%、カナダ（同10%）が75%、インドネシア（同9%）が79%と減少する一方で、米国（同8%）が112%、フィリピン（同8%）が101%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが41%、中国が75%、カナダが72%、インドネシアが87%、フィリピンが91%と減少する一方、ベトナムが140%、米国が172%と増加した。

○2023年2月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
世界計	17,503	1,265	1,036	82%	84%	2,671	2,301	86%
E U	3,227	136	125	92%	41%	636	261	41%
(フィンランド)	1,080	37	38	102%	36%	217	76	35%
(スウェーデン)	688	31	24	78%	38%	145	55	38%
ベトナム	2,110	231	139	60%	140%	240	370	154%
中 国	2,071	170	94	55%	75%	305	264	86%
カナダ	1,760	108	81	75%	72%	259	189	73%
インドネシア	1,584	108	86	79%	87%	221	195	88%
米 国	1,456	119	133	112%	172%	162	252	156%
フィリピン	1,348	108	109	101%	91%	214	218	102%
マレーシア	1,118	91	69	76%	91%	167	160	96%
ロシア	685	23	25	108%	33%	168	49	29%
その他	2,144	171	174	102%	127%	300	345	115%
我が国の総輸入額	1,181,642	100,570	85,524	85%	109%	163,983	186,094	113%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.48%	1.26%	1.21%			1.63%	1.24%	

○2021～2023年の1～2月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

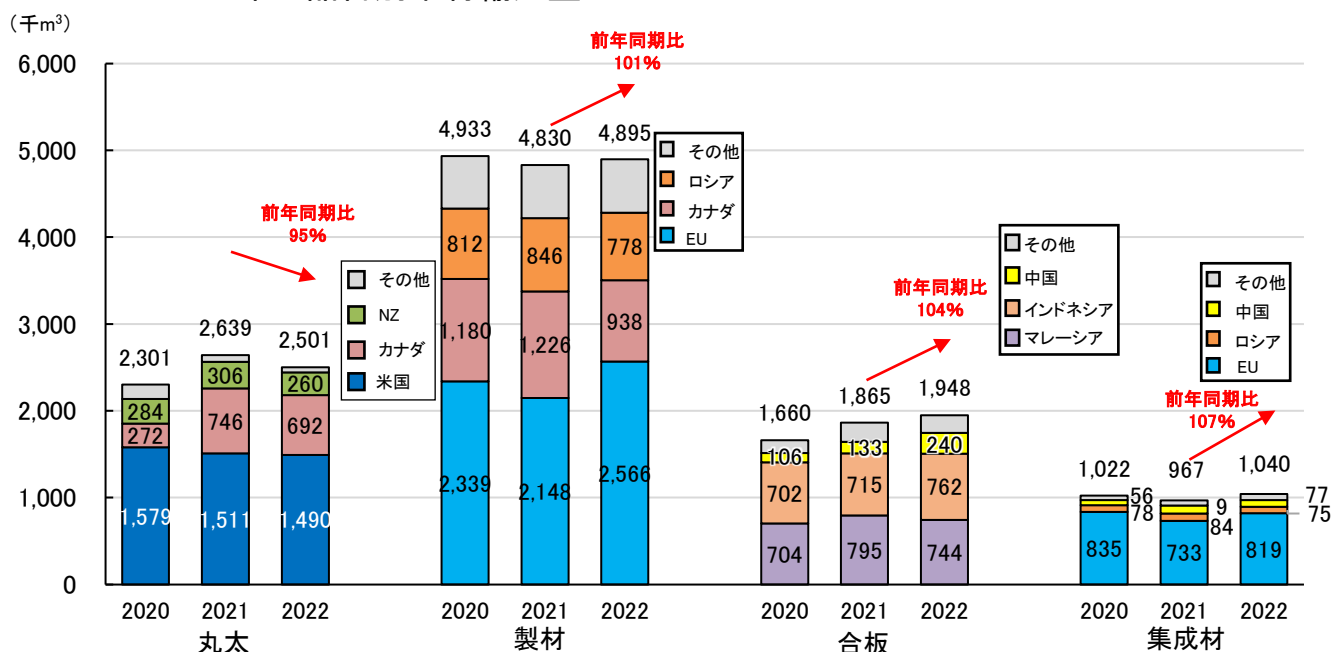
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

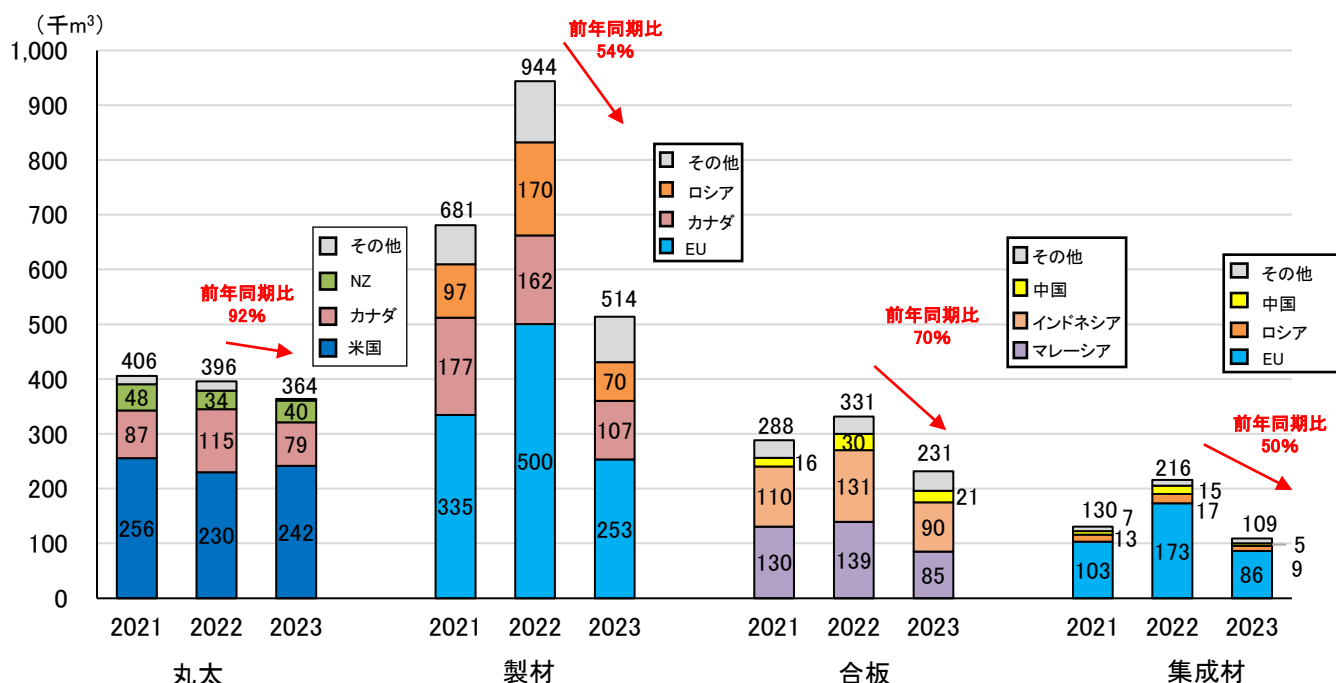
林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年における品目別の輸入量は、前年比で丸太が95%と減少する一方で、製材が101%、合板が104%、集成材が107%と、増加した。
- 2023年1月～2月累計の品目別輸入量は、前年同期比で丸太が92%、製材が54%、合板が70%、集成材が50%と軒並み減少した。
- なお、2021年同期比では、丸太が90%、製材が75%、合板が80%、集成材が84%となった。

○2020～2022年の品目別木材輸入量



○2021～2023年の1月～2月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2023年2月の丸太輸入量は、前月比64%、前年同月比83%の14万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア60%）が75%、カナダ（同28%）が31%、ニュージーランド（同10%）が79%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、カナダが30%と大幅に減少する一方、米国が103%と増加した。また、ニュージーランドは皆増となった。

(単位:千m³)

材種 国名	年	月別数量				累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月
合 計		[100%] 2,501	[100%] 222	[100%] 141	64%	83%	[100%] 396	[100%] 364
米 材		[87%] 2,182	[89%] 198	[87%] 122	62%	75%	[87%] 345	[88%] 321
米国		[60%] 1,490	[62%] 138	[73%] 104	75%	103%	[58%] 230	[66%] 242
カナダ		[28%] 692	[27%] 60	[13%] 19	31%	30%	[29%] 115	[22%] 79
南洋材		[1%] 29	[0%] 0	[0%] 0	461%	6%	[2%] 7	[0%] 0
インドネシア		[0%] 0	-	-	-	-	-	-
マレーシア		[1%] 22	-	[0%] 0	皆増	6%	[2%] 7	[0%] 0
パプアニューギニア		[0%] 7	[0%] 0	-	0%	-	-	[0%] 0
ロシア材		[0%] 7	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド材		[10%] 260	[10%] 22	[12%] 18	79%	皆増	[9%] 34	[11%] 40
欧州材		[1%] 15	[0%] 1	[0%] 1	117%	67%	[0%] 2	[0%] 1
EU 計		[1%] 15	[0%] 1	[0%] 1	117%	69%	[0%] 1	[0%] 1
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 1	[0%] 0	21%	92%	[0%] 0	[0%] 1
中 国		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	100%	15%	[0%] 0	[0%] 0
その他		[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	91%	73%	[0%] 1	[0%] 1

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2023年2月の製材輸入量は、前月比98%、前年同月比59%の25万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア19%）は100%となった。また、EU（同52%）が90%と減少する一方、ロシア（同16%）が113%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが72%、ロシアが47%、EUが50%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

材種 国名	年	月別数量					累計数量		
		2022年 (1月～ 12月)	2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
合 計		[100%] 4,895	[100%] 260	[100%] 254			[100%] 944	[100%] 514	
米 材		[22%] 1,070	[24%] 62	[24%] 60			[19%] 183	[24%] 122	
米国		[3%] 132	[3%] 9	[3%] 7			[2%] 21	[3%] 15	
カナダ		[19%] 938	[21%] 53	[21%] 54			[17%] 162	[21%] 107	
南洋材		[1%] 63	[2%] 6	[2%] 4			[1%] 11	[2%] 10	
インドネシア		[0%] 21	[1%] 2	[1%] 2			[0%] 4	[1%] 4	
マレーシア		[1%] 40	[1%] 4	[1%] 2			[1%] 7	[1%] 6	
パプアニューギニア		[0%] 0	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	
ロシア材		[16%] 778	[13%] 33	[15%] 37			[18%] 170	[14%] 70	
ニュージーランド材		[1%] 47	[2%] 5	[1%] 3			[1%] 9	[2%] 8	
チリ材		[5%] 251	[6%] 14	[9%] 24			[5%] 45	[7%] 38	
欧州材		[54%] 2,619	[52%] 135	[48%] 123			[54%] 514	[50%] 258	
EU 計		[52%] 2,566	[51%] 134	[47%] 120			[53%] 500	[49%] 253	
(スウェーデン)		[17%] 847	[19%] 49	[17%] 42			[19%] 178	[18%] 91	
(フィンランド)		[17%] 842	[14%] 36	[16%] 41			[17%] 159	[15%] 77	
アフリカ材		[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	
中 国		[1%] 57	[1%] 3	[1%] 2			[1%] 9	[1%] 4	
その他		[0%] 8	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 2	[0%] 1	

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2023年2月の合板輸入量は、前月比87%、前年同月比74%の11万³となった。
- 国別に、前月比で見ると、インドネシア（前年輸入量に占めるシェア39%）が83%と減少する一方、マレーシア（同38%）が112%と増加した。
- 前年同月比で見ると、インドネシアが72%、マレーシアが74%と減少した。

（単位：千³）

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,948	[100%] 124	[100%] 108	87%	74%	[100%] 331	[100%] 231	70%
インドネシア	[39%] 762	[40%] 49	[38%] 41	83%	72%	[39%] 131	[39%] 90	69%
マレーシア	[38%] 744	[33%] 40	[42%] 45	112%	74%	[42%] 139	[37%] 85	61%
中 国	[12%] 240	[11%] 13	[7%] 8	57%	55%	[9%] 30	[9%] 21	71%
ベトナム	[10%] 186	[16%] 19	[12%] 13	67%	114%	[9%] 28	[14%] 32	115%
EU	[0%] 6	[1%] 1	[0%] 0	49%	75%	[0%] 1	[1%] 1	103%
その他	[1%] 10	[1%] 1	[1%] 1	142%	99%	[1%] 2	[1%] 2	84%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2023年2月の木材チップ輸入量は、前月比95%、前年同月比111%の89万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が79%と減少する一方、オーストラリア（同17%）が143%、チリ（同8%）が145%と増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが83%と減少する一方、ベトナムが109%、オーストラリアが201%と増加した。

（単位：千トン）

年 国名	2022年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 11,312	[100%] 935	[100%] 888	95%	111%	[100%] 1,784	[100%] 1,823	102%
ベトナム	[38%] 4,300	[42%] 393	[35%] 312	79%	109%	[38%] 687	[39%] 705	103%
オーストラリア	[17%] 1,943	[14%] 130	[21%] 185	143%	201%	[17%] 294	[17%] 315	107%
チリ	[8%] 868	[6%] 58	[9%] 84	145%	83%	[12%] 220	[8%] 142	65%
南アフリカ共和国	[10%] 1,099	[10%] 94	[7%] 62	66%	93%	[7%] 128	[9%] 155	122%
米 国	[8%] 960	[4%] 42	[8%] 68	164%	111%	[7%] 124	[6%] 110	89%
その他	[19%] 2,142	[23%] 219	[20%] 177	81%	90%	[19%] 332	[22%] 396	119%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2023年2月の集成材輸入量は、前月比102%、前年同月比54%の5.5万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比114%、前年同月比55%の5.0万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア7%）が59%と減少する一方、EU（同79%）が108%、ロシア（同7%）が132%と増加した。EUの国別内訳では、オーストリア（同12%）が67%と減少する一方、フィンランド（同38%）が117%、ルーマニア（同15%）が157%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが54%、中国が33%、ロシアが63%と軒並み減少した。

（単位：千m³）

年 国名	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
		2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1 ～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 1,040	[100%] 54	[100%] 55	102%	54%	[100%] 216	[100%] 109	50%
うち 構造用集成材	[100%] 906	[100%] 44	[100%] 50	114%	55%	[100%] 191	[100%] 93	49%
E U	[79%] 819	[77%] 42	[81%] 45	108%	54%	[80%] 173	[79%] 86	50%
うち 構造用集成材	[88%] 797	[89%] 39	[89%] 44	114%	55%	[87%] 167	[89%] 83	50%
フィンランド	[38%] 390	[38%] 20	[43%] 24	117%	60%	[37%] 80	[40%] 44	55%
うち 構造用集成材	[43%] 385	[44%] 19	[47%] 24	123%	60%	[41%] 79	[46%] 43	54%
ルーマニア	[15%] 156	[10%] 5	[15%] 8	157%	45%	[16%] 34	[12%] 13	39%
うち 構造用集成材	[16%] 148	[12%] 5	[16%] 8	157%	48%	[16%] 31	[14%] 13	41%
オーストリア	[12%] 125	[12%] 6	[8%] 4	67%	40%	[11%] 25	[10%] 11	43%
うち 構造用集成材	[13%] 116	[11%] 5	[8%] 4	85%	41%	[12%] 23	[9%] 9	38%
中国	[7%] 77	[5%] 3	[3%] 2	59%	33%	[7%] 15	[4%] 5	31%
うち 構造用集成材	[5%] 45	[3%] 1	[2%] 1	65%	24%	[5%] 9	[2%] 2	20%
ロシア	[7%] 75	[8%] 4	[10%] 5	132%	63%	[8%] 17	[9%] 9	54%
うち 構造用集成材	[7%] 63	[8%] 4	[10%] 5	133%	71%	[8%] 15	[9%] 8	57%
その他	[7%] 68	[10%] 5	[6%] 3	63%	57%	[5%] 11	[8%] 9	82%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] -	[0%] -	-	-	[0%] 0	[0%] -	0%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、L V L）

- 2023年2月の木質ペレット輸入量は、前月比93%、前年同月比197%の42万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア54%）が43%と減少する一方、カナダ（同31%）が104%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが118%、カナダが218%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
			2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 4,407	[100%] 456	[100%] 423	93%	197%	[100%] 534	[100%] 879	165%
ベトナム		[54%] 2,394	[64%] 293	[30%] 127	43%	118%	[55%] 291	[48%] 420	144%
カナダ		[31%] 1,359	[28%] 125	[31%] 130	104%	218%	[33%] 177	[29%] 255	144%
マレーシア		[3%] 137	[8%] 36	[2%] 9	24%	72%	[4%] 22	[5%] 45	202%
その他		[12%] 517	[0%] 1	[37%] 158	11590%	442%	[8%] 44	[18%] 159	365%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2023年2月のL V L輸入量は、前月比63%、前年同月比98%の3.2万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア75%）が62%、ベトナム（同20%）が56%と減少した。前年同月比で見ると、ベトナムが81%と減少する一方、中国が107%と増加した。

（単位：千m³）

国名	年	2022年 (1月～12月)	月別数量				累計数量		
			2023年 1月	2023年 2月	前月比	前年 同月比	2022年 1～2月	2023年 1～2月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 527	[100%] 50	[100%] 32	63%	98%	[100%] 85	[100%] 82	97%
中国		[75%] 397	[73%] 37	[73%] 23	62%	107%	[77%] 66	[73%] 60	92%
ベトナム		[20%] 107	[23%] 11	[20%] 6	56%	81%	[18%] 15	[22%] 18	117%
インドネシア		[4%] 19	[3%] 2	[5%] 2	110%	76%	[4%] 3	[4%] 3	101%
その他		[1%] 4	[1%] 0	[1%] 0	75%	74%	[1%] 1	[1%] 1	83%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：L V Lは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

3：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

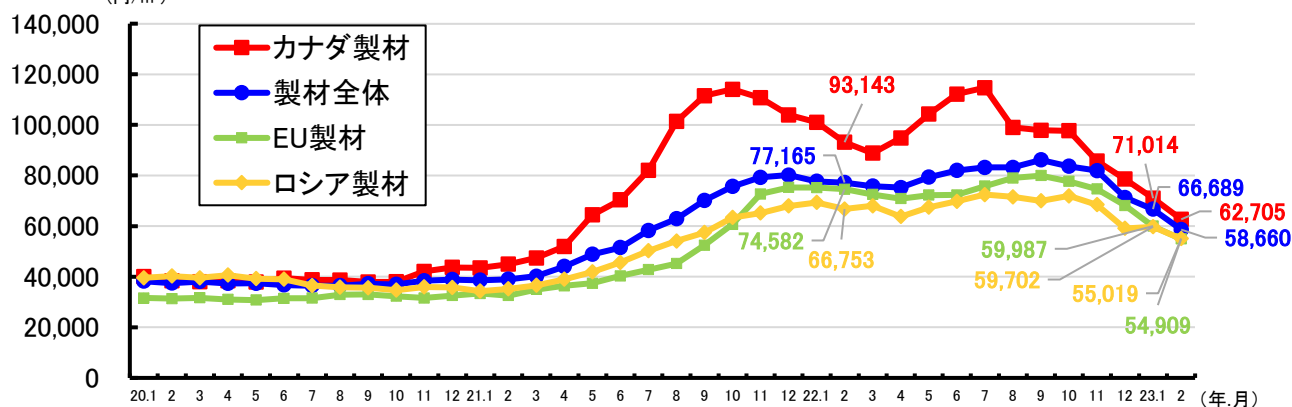
4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2023年2月の製材輸入平均単価（総輸入額/総輸入量）は、前月比88%の58,660円/㎥（前年同月比76%）。うち、カナダの製材は前月比88%の62,705円/㎥（同67%）、EUの製材は前月比92%の54,909円/㎥（同74%）、ロシアの製材は前月比92%の55,019円/㎥（同82%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比88%の73,517円/㎥（前年同期比57%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比95%の88,857円/㎥（前年同期比108%）。

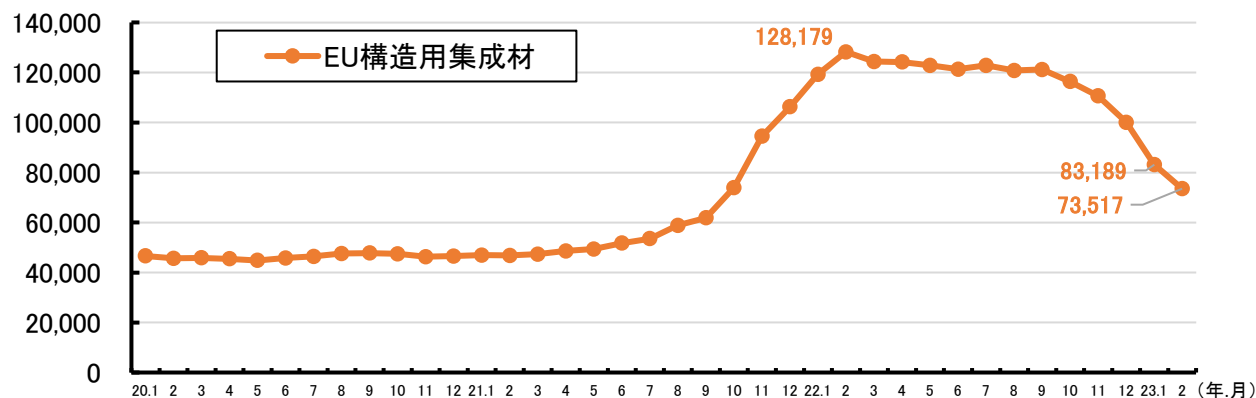
○製材の輸入平均単価

(円/㎥)



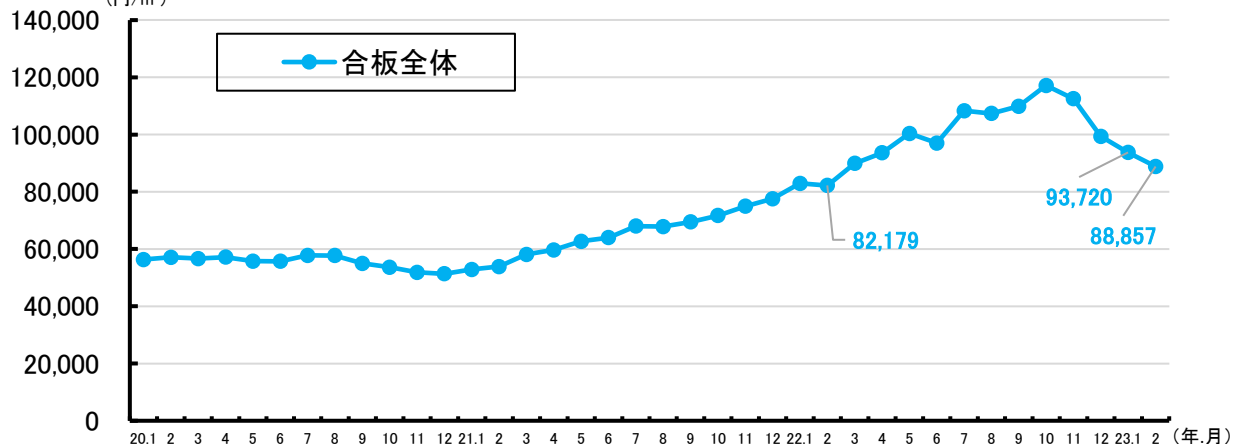
○構造用集成材の輸入平均単価

(円/㎥)



○合板の輸入平均単価

(円/㎥)



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報- 1
 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,550t（対前年比89.2%）となった。

○きのこ類

単位：t

品目 年次		きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注：まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

品目 年次		その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎＋葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注：くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

品目 年次		非 食 用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m	t	t	t	t	層積m	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192

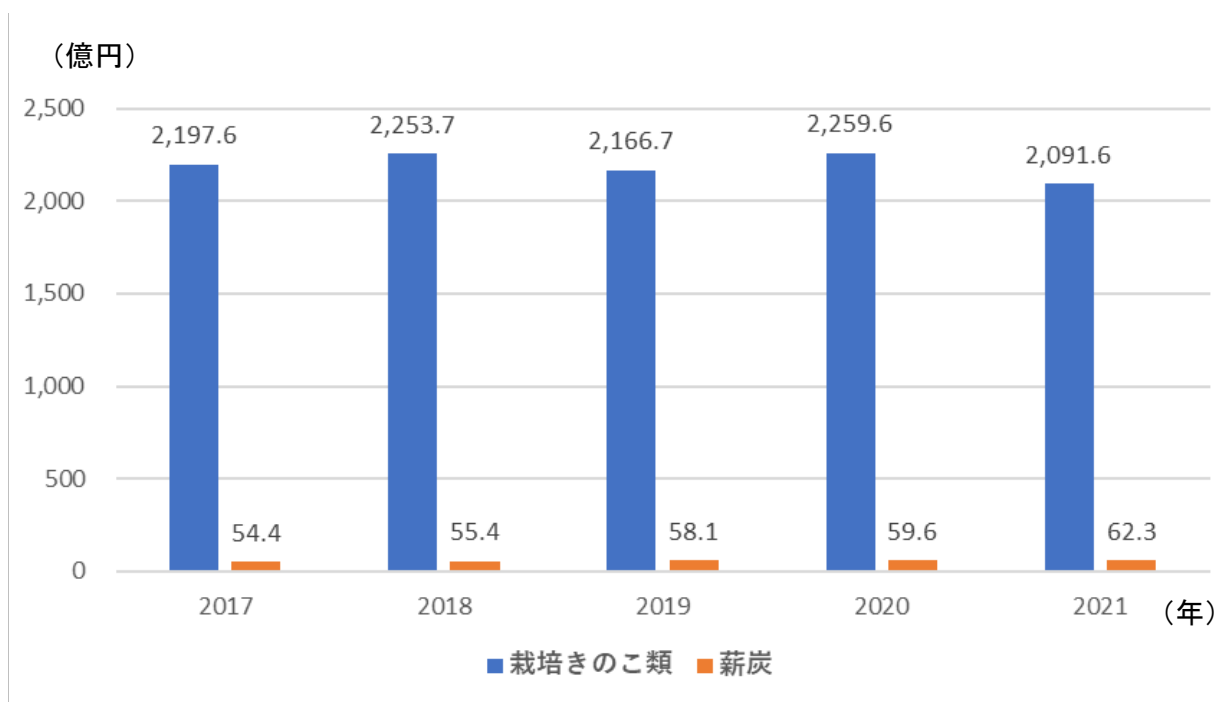
- 注：1 木炭、薪の昭和47年までに生産量は『農林省統計表』による。
- 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
- 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業界調べによる
- 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

資料：特用林産基礎資料（第一報）

- 2021年のきのこ類の林業産出額は、2,091.6億円（対前年比92.6%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、62.3億円（対前年比104.5%）となった。

(億円)

	2017	2018	2019	2020	2021
栽培きのこ類	2, 197. 6	2, 253. 7	2, 166. 7	2, 259. 6	2, 091. 6
薪炭	54. 4	55. 4	58. 1	59. 6	62. 3



資料：農林水産省「令和3年林業産出額」

- 2023年1～2月の乾しいたけの輸出量は6トン、輸入量は680トン。
- 2023年1～2月の木炭の輸出量は22トン、輸入量は10,525トン。

品目	単位	2019		2020		2021		2022		2023 1-2月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	33	4,869	33	4,354	41	4,575	36	4,596	6	680
生しいたけ	トン	…	1,835	…	1,785	…	1,988	14	2,262	2	396
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	89	25,320	14	23,190	66	22,060	76	24,882	-	3,354
まつたけ	トン	…	849	…	629	…	524	…	408	…	-
くり	トン	…	9,019	…	7,371	…	8,401	…	8,481	…	371
くるみ	トン	…	52,236	…	56,478	…	67,581	…	53,991	…	7,545
たけのこ	トン	…	157,296	…	142,544	…	149,778	…	153,619	…	21,519
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	7	10	4	9	5	11	5	10	1	5
生うるし	kg	…	36,254	…	30,165	…	21,910	…	23,880	…	5,600
つばき油	kl	…	180	…	220	…	224	…	218	…	51
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	215	0	194	0	191	0	159	-	26
桐材	m ³	…	10,099	…	9,726	…	9,871	…	9,813	…	1,280
木炭	トン	460	143,953	439	79,739	270	84,224	205	80,042	22	10,525
竹炭	トン	…	9,414	12	7,605	2	6,790	6	9,666	-	1,609
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	788	1,830	468	2,326	490	7,099	558	9,048	-	1,664
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	54,183	…	44,499	…	37,584	…	43,396	…	6,198
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

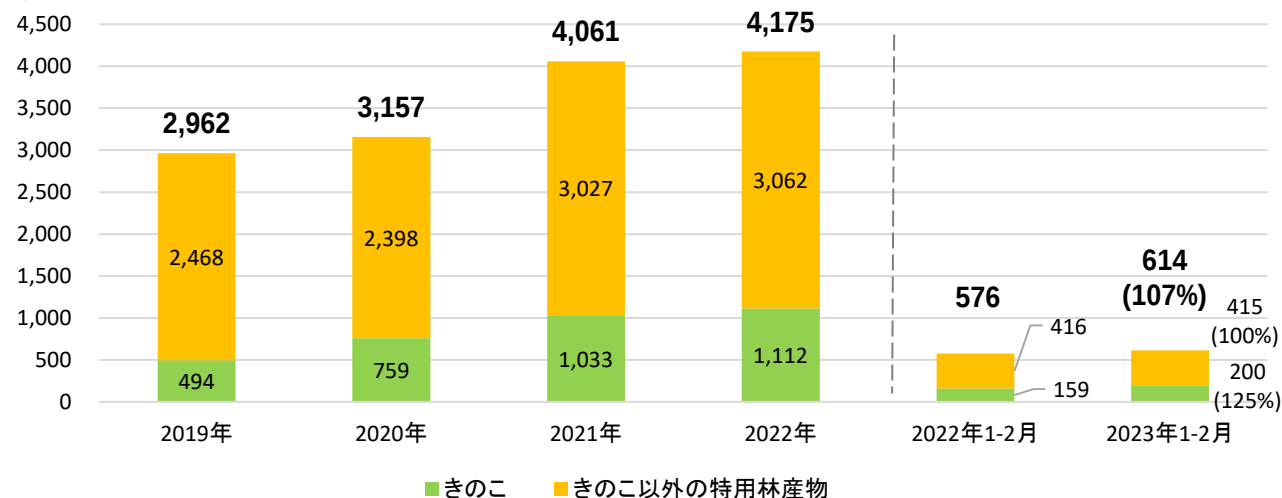
資料：財務省貿易統計

注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

- 2023年（1～2月）の特用林産物輸出額は614百万円（前年同期比107%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は、200百万円（対前年同期比125%）、きのこ以外は、415百万円（対前年同期比100%）となった。
- 2月輸出額は、343百万円（対前年同月比105%）となった。
- 内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は、99百万円（対前年同月比129%）、きのこ以外の特用林産物は243百万円（対前年同月比88%）となった。

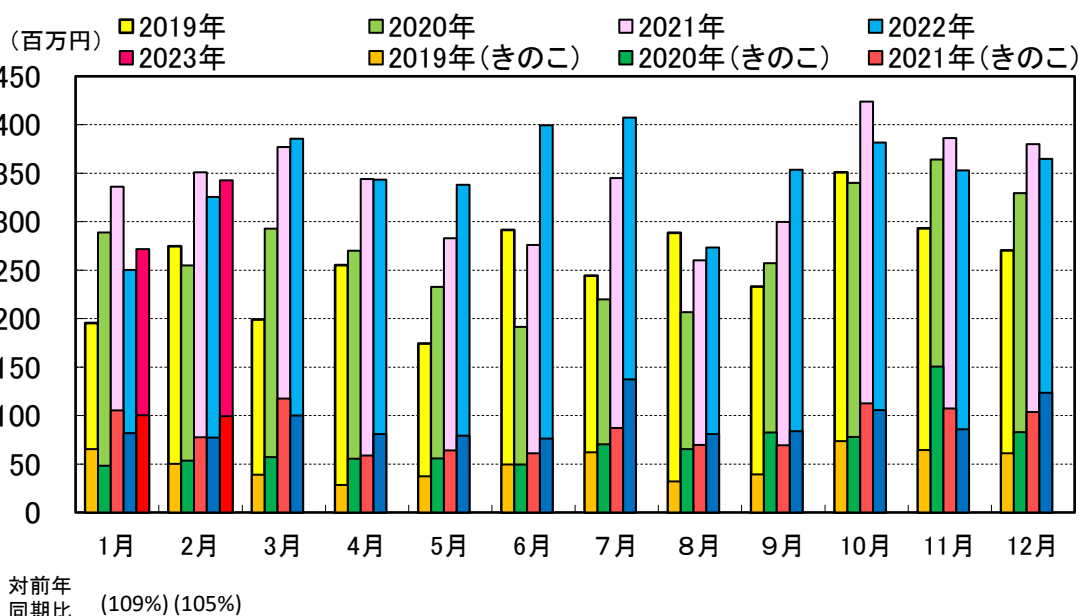
○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）

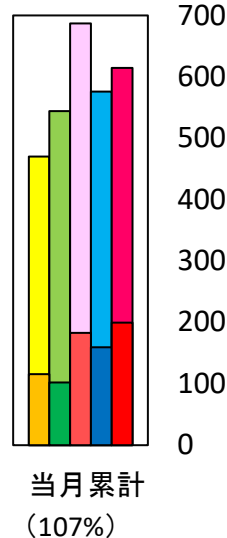


○特用林産物輸出額全体の推移（月別）

（百万円）



（百万円）



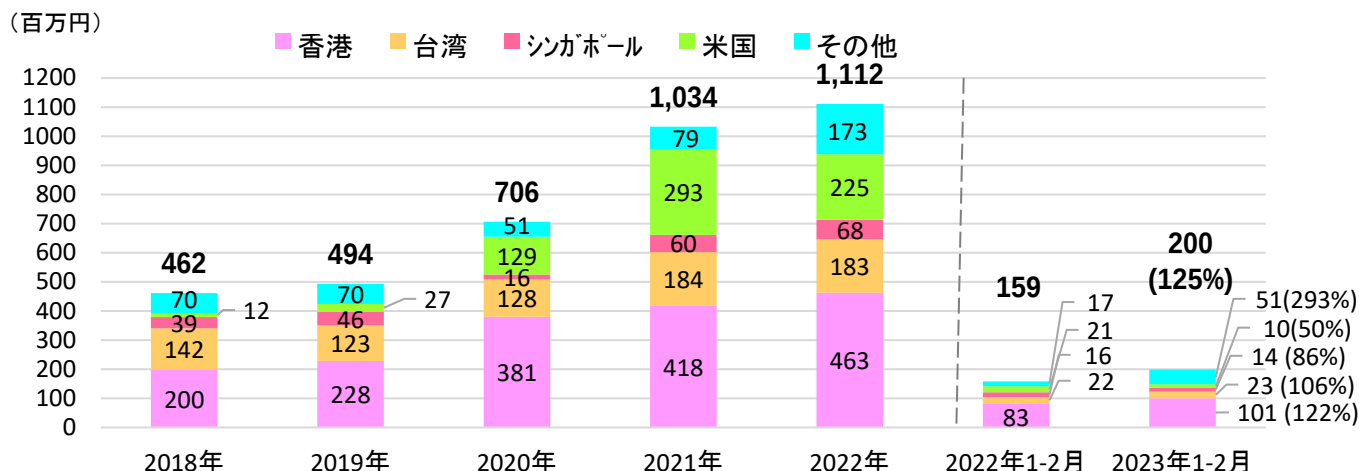
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2023年（1～2月）のきのこの輸出額は200百万円で、対前年同期比125%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比122%、台湾が106%、シンガポールが86%、米国が50%となっている。
- 2023年（1～2月）の輸出量は262トンで、対前年同期比113%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比97%、台湾が92%、シンガポールが78%、米国が64%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



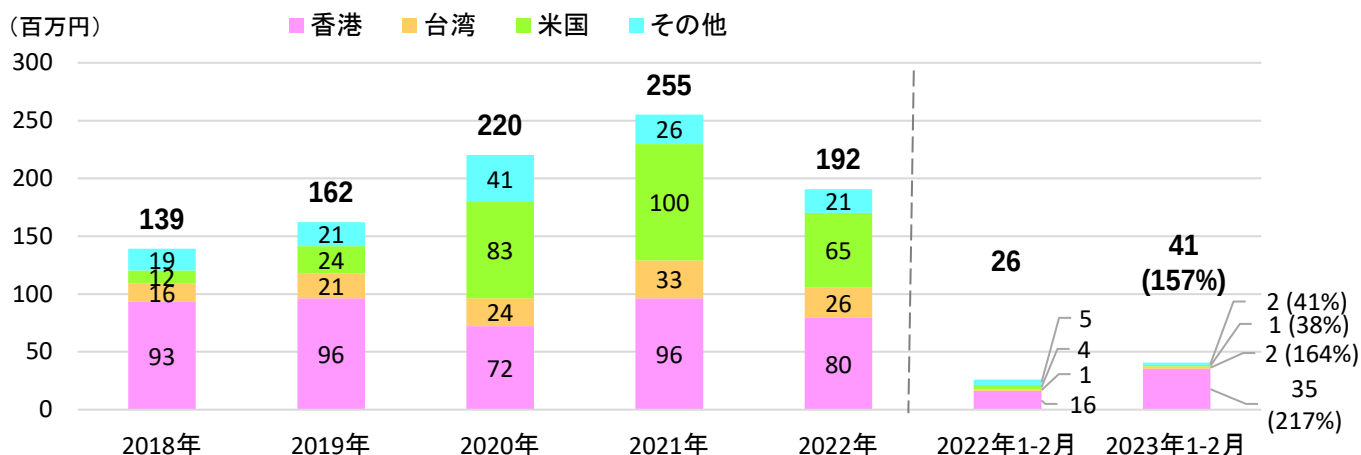
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2023年（1～2月）の乾しいたけの輸出額は41百万円で、対前年同期比157%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比217%、台湾は164%、米国は38%となっている。
- 2023年（1～2月）の輸出量は6トンで、対前年同期比150%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比215%、台湾が129%、米国が55%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

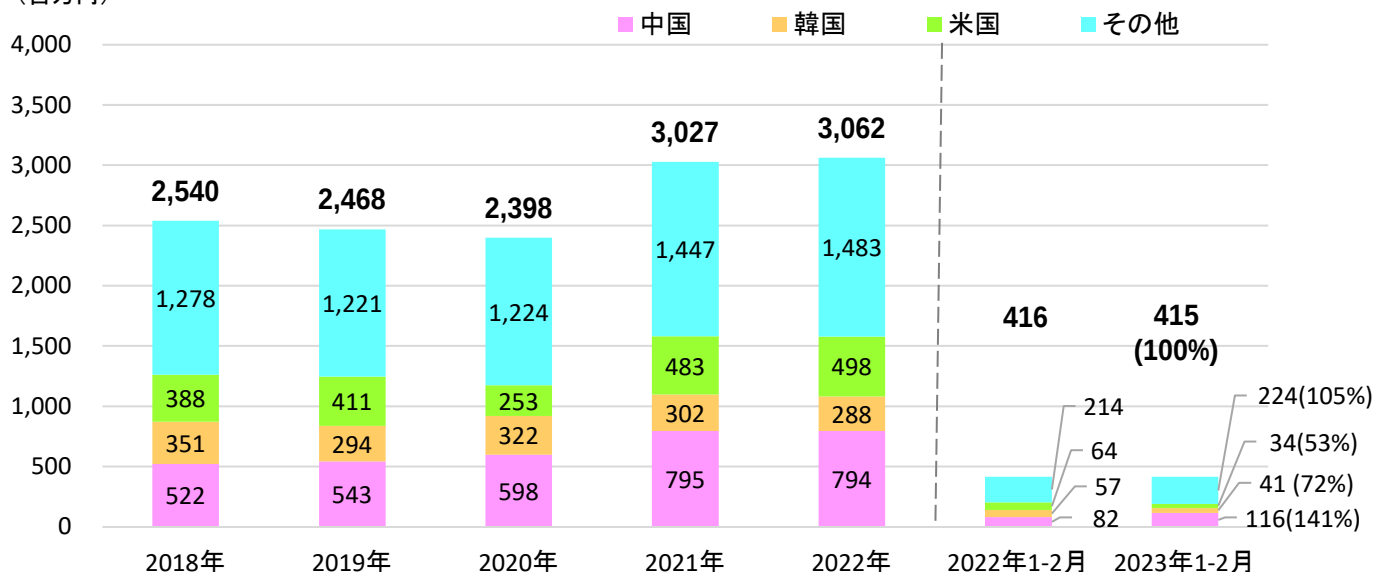
※()は対前年同期比

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額③

- 2023年（1～2月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は415百万円で、対前年同期比100%となっている。国別には、中国が対前年同期比141%、韓国が72%、米国が53%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比104%、植物性ろうが92%、テルペン油が49%となっている。
- 2023年（1～2月）の輸出量は354トンで、対前年同期比92%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比145%、韓国が53%、米国が33%となっている。

〇きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）

（百万円）



資料：財務省貿易統計

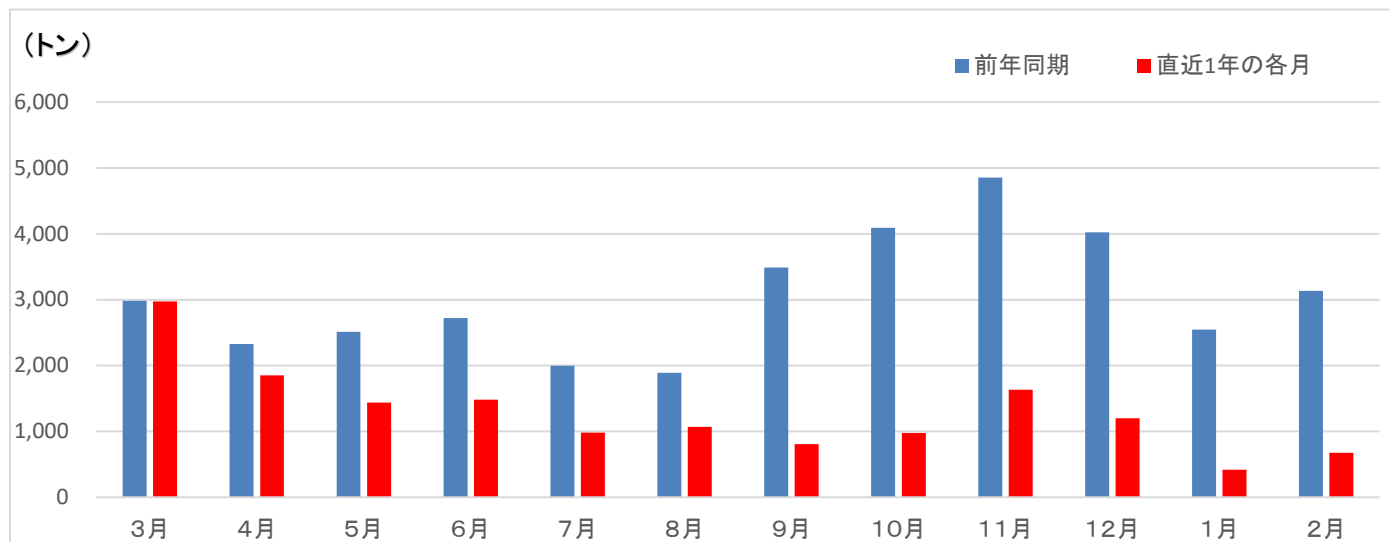
※()は対前年同期比

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあるが、2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 月別の輸入量について前年と比較すると、4月以降の輸入量に減少が見られ、直近の2月には、前年の3,136トンから675トン（対前年同期比21.5%）へと大幅に減少。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月
しいたけ菌糸輸入量	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199	420	675
（前年同期）	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022	2,548	3,136



資料：財務省貿易統計

- 2023年3月のきのこの卸売数量は、6,593トン（対前年同月比96.7%）となった。
- 2023年3月のきのこの卸売総額は3,061百万円（対前年同月比99.9%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2020年	2021年	2022年	2022年 3月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月
生しいたけ	48,466	47,744	47,222	1,554	1,669	1,766	2,067	1,541	1,398	1,489
なめこ	16,889	16,285	16,865	524	522	484	521	468	455	498
えのきだけ	98,312	99,571	99,656	2,896	3,956	3,762	4,435	3,374	2,929	2,688
しめじ	62,573	62,049	62,459	1,845	2,505	2,188	2,431	2,030	1,936	1,918
合計	226,240	225,649	226,202	6,819	8,652	8,200	9,454	7,413	6,718	6,593

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2020年	2021年	2022年	2022年 3月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月
生しいたけ	43,781	41,270	41,300	1,381	1,717	1,748	2,402	1,766	1,461	1,379
なめこ	7,431	7,032	7,321	237	258	243	241	223	225	229
えのきだけ	26,245	23,267	23,288	695	1,039	1,125	1,480	1,247	995	696
しめじ	28,688	25,099	25,300	751	1,108	1,075	1,126	969	906	757
合計	106,144	96,668	97,209	3,063	4,121	4,190	5,249	4,204	3,588	3,061

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2020年	2021年	2022年	2022年 3月	2022 10月	2022 11月	2022 12月	2023 1月	2023 2月	2023 3月
生しいたけ	903	864	875	889	1,029	990	1,162	1,146	1,045	926
なめこ	440	432	434	452	493	502	463	476	495	459
えのきだけ	267	234	234	240	263	299	334	370	340	259
しめじ	458	404	405	407	442	491	463	477	468	395

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報ををご紹介します。

■ 4月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～ 雨谷麻世 環境チャリティコンサート vol. 83～87	4月20日(木) 7月26日(水) 9月15日(金) 10月3日(火) 12月20日(水)	王子ホール、 戸塚区民文化センター さくらプラザ、 ほか	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 チケット取扱い：e+（イープラス） http://eplus.jp 詳細： https://mayocrystalvoice.com/category/concert_news/
第52回 建築総合展 NAGOYA	5月11日(木) ～12日(金)	愛知県 産業労働 センター・ ウインク あいち	新しい材料や住宅設備機器、インテリア、エクステリア製品などを展示する木材利用などカーボンニュートラルの時代に即応した展示会です。 主催：（公社）愛知建築士会 詳細： https://www.chukei-news.co.jp/kenchiku/outline/
第26回 「木のある暮らし」 作文コンクール	●募集期間 5月15日(月) ～9月11日(月) ●表彰式 10月28日(土)	オンライン (表彰式)	日々の生活のなかにある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とする作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会 詳細： https://www.mokujukyo.or.jp/lifewithwood/concours/
理想のすまいと 建築フェア	6月8日(木) ～9日(金)	インテックス 大阪	建築材料及び住宅設備に関する機器・技術を総合的に展示し、広く住宅・非住宅関連の最新情報を提供します。 主催：（一社）日本建築材料協会 日本経済新聞社、テレビ大阪 事前申込：要（入場料無料） 詳細： http://ken-ten.jp/

コラム

日本木材学会編「木材学」

～初心者から研究者まで、木材のことを幅広く学べる教科書

林野庁では、政策立案において科学的知見を活用していく観点から、木材をはじめ林産物に関する学術研究を推進する一般社団法人日本木材学会と定期的な意見交換を行っています。

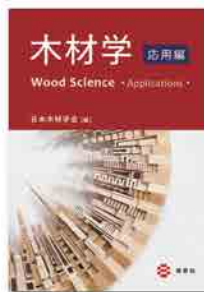
そこで挙げられた課題の一つが、人材の育成です。近年、カーボンニュートラルやSDGsの観点から、国内外で木材利用への関心が高まる中、教育・研究分野だけでなく、企業や行政においても、木材に関する知識をもった人材が一層求められるようになっていきます。

このため、日本木材学会では2023年3月、木材に関する基本的かつ最新の知見を網羅した教科書「木材学」（基礎編・応用編の全2巻、海青社）を刊行しました。木材のことを学び、理解する人材が増えていくことにより、日本の豊かな森林資源の循環利用と持続可能な社会の実現につながることが期待されます。



基礎編

- 1章 木質資源と環境影響
- 2章 木材の概観
- 3章 木部の形成
- 4章 木質の基本構造
- 5章 木材の物理的性質
- 6章 リグニンおよび木材主要成分の分離
- 7章 セルロース・ヘミセルロース
- 8章 紙・セルロースナノファイバー
- 9章 抽出成分



応用編

- 10章 木質構造
- 11章 木質建材
- 12章 木材と五感
- 13章 木材乾燥
- 14章 木材加工
- 15章 接着
- 16章 品質管理と非破壊計測
- 17章 きのこと菌類
- 18章 生物劣化と耐久性
- 19章 燃焼性と難燃・不燃

◆ 今後、木材学会HPで「木材学用語集」が一般公開予定です。 <http://www.jwrs.org/>

お知らせ

森林の売買に関する情報

～山を買いきたいという話があったときには～

- ・都市近郊林のような価値水準の高い地域以外での森林の取引においては、土地そのものの価値よりも、その土地に生育している立木の価値で評価されることが多く、立木の樹種や量（材積）、搬出条件や市況等により価格が左右されます。
- ・売却を検討する際には、森林の土地のみならず、その上にある立木の樹種や材積等の情報をしっかりと把握したり、買い手に尋ねたりすることが重要です。
- ・また、立木価格については、以下の公開情報が参考になります。

立木価格に関する公開情報

■ 一般財団法人 日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」

＜全国平均山元立木価格（北海道及び沖縄県を除く）＞

区分	単位	普通品等価格（円）	
		2022年3月	2021年3月
山元立木価格			
スギ価格	1 m ³ 当たり	4,994	3,200
ヒノキ価格		10,840	7,137
マツ価格		2,729	1,989

＜計算例＞

仮に1haのスギの人工林を所有し、そこに400m³の立木材積（歩留まりを0.75とした場合、利用材積は300m³となる）がある場合、その価格は、

（2022年3月の結果を使った場合） $400 \times 0.75 \times 4,994 = 1,498,200$ （円）
（2021年3月の結果を使った場合） $400 \times 0.75 \times 3,200 = 960,000$ （円）と計算できます。

1ha当たり利用材積

利用材積1m³当たりのスギ山元立木価格

ただし、これは上記表の全国平均の価格水準の森林であると仮定した場合の計算ですので、一つの目安の金額にはなりますが、実際には個々の森林内の立木の質等によって価格は変わるものであることに留意が必要です。

- ・山元立木価格は、規格が末口径20～22 cm、長さ3.65～4m 程度の並丸太（利用材積という）について、最寄木材市場渡し素材価格から伐木・造材及び運搬費等の生産諸経費を差し引いた利用材積1 m³当たりの価格を採用しています。
- ・2022年3月末現在の調査時点では、2021年の輸入木材製品の不足・価格高騰が顕著となったこと（いわゆるウッドショック）の影響を受け、スギやヒノキ等の素材価格が上昇していたことなどから、山元立木価格についても前年から大きく上昇しました。

上記の表では調査結果の一部を抜粋して掲載しています。詳細についてはこちらをご覧ください。

【公表資料】田畑価格及び賃借料調、山林素地及び山元立木価格調（2022年3月末）の調査結果
(<https://www.reinet.or.jp/?p=29891>)

森林の土地の所有者届出制度

- ・個人、法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず市町村長への届出をしなければなりません。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です。

森林の土地の所有者届出制度の詳細はこちらをご覧ください。

森林の土地の所有者届出制度 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/todokede/>)

■ 一般財団法人 日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」＜抜粋＞

＜都道府県別平均山元立木価格（普通品等 円／㎡）＞

単位：円

都道府県	杉			桧			松		
	2022年	2021年	対前年比	2022年	2021年	対前年比	2022年	2021年	対前年比
北海道	－	－	－	－	－	－	4,933	4,158	118.6%
青森	3,970	2,643	150.2%	－	－	－	3,230	2,540	127.2%
岩手	4,725	2,826	167.2%	－	－	－	5,196	3,175	163.7%
宮城	4,510	3,144	143.4%	7,897	6,517	121.2%	2,386	1,844	129.4%
秋田	4,496	2,702	166.4%	－	－	－	－	－	－
山形	4,735	3,011	157.3%	－	－	－	2,700	2,200	122.7%
福島	4,367	2,886	151.3%	10,500	5,850	179.5%	2,333	1,850	126.1%
茨城	4,567	3,255	140.3%	9,065	6,400	141.6%	－	－	－
栃木	5,710	3,952	144.5%	12,741	7,583	168.0%	－	－	－
群馬	4,414	2,984	147.9%	8,614	6,274	137.3%	2,550	1,600	159.4%
埼玉	3,000	3,167	94.7%	9,500	6,667	142.5%	－	－	－
千葉	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東京	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	－	2,000	－	－	－	－	－	1,800	－
新潟	4,273	2,902	147.2%	－	－	－	－	1,500	－
富山	3,663	2,413	151.8%	－	－	－	－	－	－
石川	3,000	2,572	116.6%	8,600	6,243	137.8%	2,167	1,523	142.3%
福井	4,563	2,950	154.7%	9,250	6,500	142.3%	－	－	－
山梨	3,805	2,713	140.3%	9,344	6,458	144.7%	3,250	2,231	145.7%
長野	3,444	2,156	159.7%	9,077	6,000	151.3%	3,173	2,300	138.0%
岐阜	3,634	2,573	141.2%	10,372	7,505	138.2%	－	－	－
静岡	4,454	2,833	157.2%	9,750	6,242	156.2%	－	－	－
愛知	3,000	2,000	150.0%	8,745	5,794	150.9%	－	1,500	－
三重	4,681	3,045	153.7%	10,109	6,429	157.2%	－	－	－
滋賀	4,600	3,000	153.3%	9,393	5,000	187.9%	－	－	－
京都	3,965	2,475	160.2%	7,473	5,240	142.6%	－	1,500	－
大阪	－	－	－	－	－	－	－	－	－
兵庫	2,667	1,950	136.8%	7,000	5,000	140.0%	－	－	－
奈良	3,600	2,000	180.0%	8,533	5,688	150.0%	－	－	－
和歌山	3,524	2,083	169.2%	7,838	5,500	142.5%	－	－	－
鳥取	3,413	2,233	152.8%	8,667	6,167	140.5%	－	－	－
島根	3,680	2,425	151.8%	7,550	5,633	134.0%	3,260	2,778	117.4%
岡山	3,722	2,625	141.8%	8,533	7,000	121.9%	3,000	2,333	128.6%
広島	3,391	2,254	150.4%	8,504	6,200	137.2%	3,226	2,734	118.0%
山口	3,823	2,377	160.8%	8,625	5,800	148.7%	3,000	2,300	130.4%
徳島	4,822	2,750	175.3%	10,000	5,650	177.0%	2,667	1,883	141.6%
香川	－	－	－	－	－	－	－	－	－
愛媛	5,128	3,102	165.3%	10,600	6,386	166.0%	3,036	2,261	134.3%
高知	4,389	2,743	160.0%	10,169	6,016	169.0%	－	－	－
福岡	4,438	2,399	185.0%	9,935	6,086	163.2%	－	－	－
佐賀	4,300	2,700	159.3%	9,089	6,156	147.6%	－	－	－
長崎	4,513	2,760	163.5%	9,800	6,083	161.1%	－	－	－
熊本	4,955	3,065	161.7%	9,820	6,235	157.5%	－	1,000	－
大分	4,533	2,900	156.3%	9,534	6,335	150.5%	1,867	1,000	186.7%
宮崎	4,750	2,887	164.5%	8,918	5,835	152.8%	3,030	2,300	131.7%
鹿児島	4,538	2,628	172.7%	8,636	5,500	157.0%	－	－	－

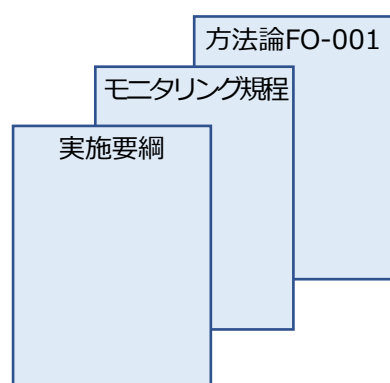
「－」の都道府県は、集計客体数が少ないため、表象できなかった。

森林由来J-クレジット創出者向け ハンドブックの公表について

J-クレジットの創出に初めて取り組む森林・林業関係者に向けて、必要な手続やクレジット創出の際のコツやポイントなどをできる限り分かりやすく解説したハンドブックを公表しました！

- ・森林由来J-クレジットのプロジェクトに取り組みたいけれど、どこから手を付けていいかわからない
- ・制度文書が難解で、出てくる言葉の意味がわからない
- ・実際にどのような手続や書類が必要なのか知りたい
- ・吸収量算定のモニタリングはどうやって行うのか知りたい
- ・販売と活用のヒントを知りたい

などの各種の疑問に対してお答えするハンドブックです。ぜひご活用ください！

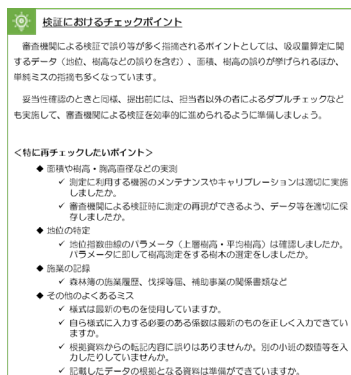


多岐にわたる制度文書・・・

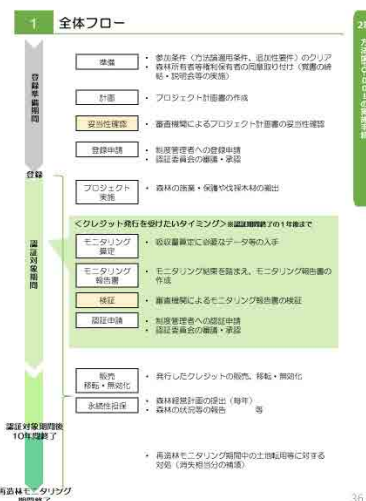


一冊のハンドブックに！

第1章	森林管理プロジェクトに参加するためのポイント
第2章	方法論FO-001の実施手続
第3章	吸収量の算定方法とモニタリング方法
第4章	プロジェクト実施者の義務
第5章	クレジットの販売と活用



ハンドブックでは、全体のフローや手戻りの多いポイントなどについて紹介！



ハンドブックはこちらから↓

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/J-credit.html

お問合せ先：林野庁森林利用課 森林吸収源推進班 (TEL：03-3502-8240)

お知らせ

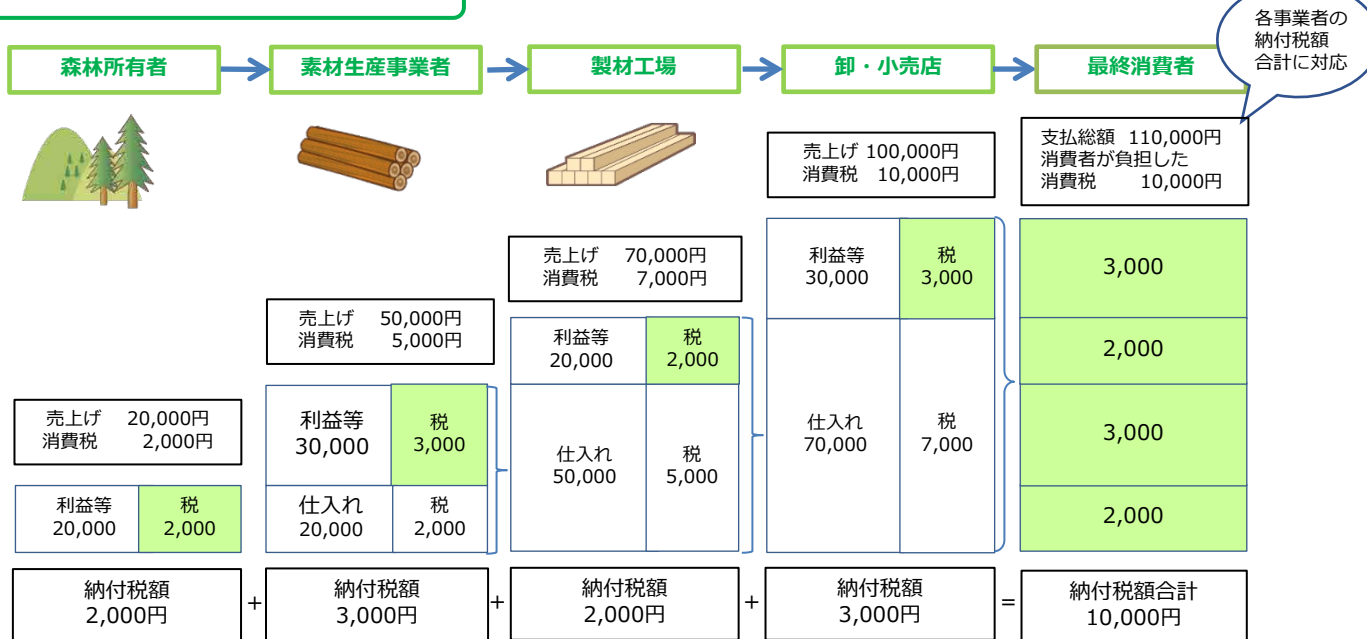
消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）が 令和5年10月1日から始まります！



○ 消費税とは

- 商品の販売やサービスの提供などの取引に対して広く公平に課される税です。
- 消費税は消費者が負担しますが、納税は事業者が行います。
- 消費税は、売上げに係る消費税額から、仕入に係る消費税額を差し引いて計算した額を納税します。（仕入に係る消費税額を差し引くことを「**仕入税額控除**」といいます）

消費税の仕組み（イメージ）



○ インボイス制度のポイント

- 令和5年10月1日から、事業者が**仕入税額控除**を行うためには、原則として、仕入先からインボイス（適格請求書）を発行してもらい、保存しておく必要があります。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けたインボイス発行事業者（課税事業者）のみが発行できます。（免税事業者は、インボイス発行事業者の登録を受けられないためインボイスの発行ができません。）
- 登録を受けると、**課税事業者として消費税の申告が必要**となります。



納付する消費税額の計算方法

※ 消費税額は、税率ごとに区分して計算する必要があります

$$\begin{array}{l} \text{売上げに係る消費税額} \\ \text{（売上税額）} \end{array} \begin{array}{c} \text{マイナス} \\ - \end{array} \begin{array}{l} \text{仕入れや経費に係る消費税額} \\ \text{（仕入税額）} \end{array} = \begin{array}{l} \text{納付する税額} \\ \text{（納付税額）} \end{array}$$

仕入れに係る消費税額を
差し引くこと
= **仕入税額控除**

仕入税額控除には
**インボイスの保存が
必要**

**インボイスがなければ
仕入税額控除できない※**

※ 一定期間、経過措置が設けられています

インボイス（適格請求書）とは？

- 丸太等を購入した買手に対し、正確な適用税率や消費税額等を伝えるために、登録番号※、適用税率、消費税額等を記載した請求書です。
（※ 登録番号は、登録後に税務署から通知される番号です）
- 「インボイス」という名称の書類を新たに作成する必要はなく、現在の請求書や領収書等に不足する項目を追加するイメージです。

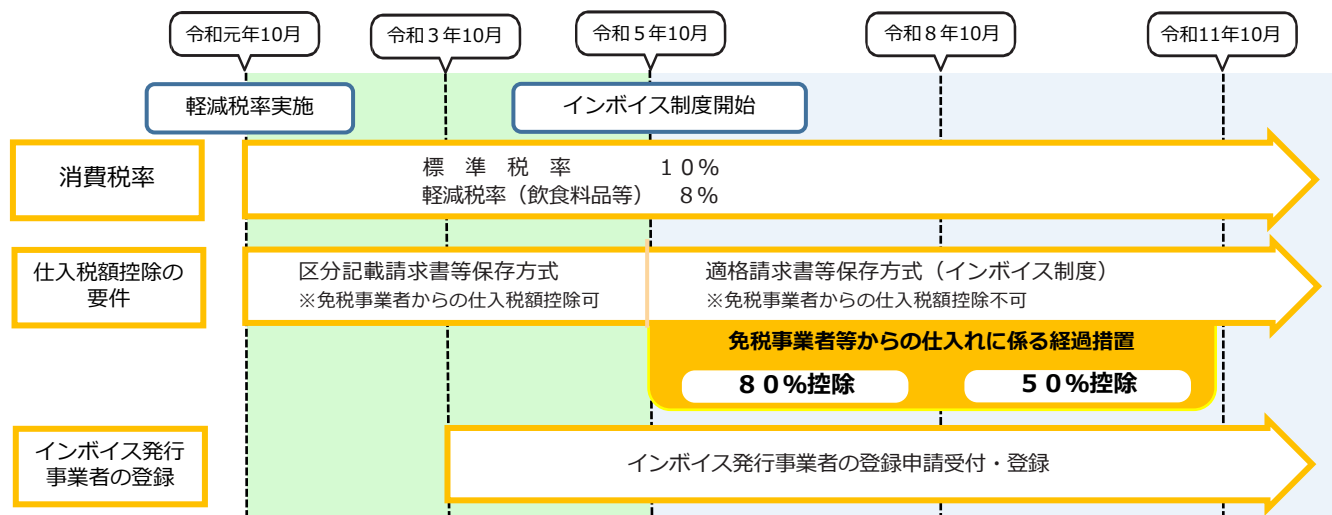
【インボイスのイメージ】

請求書			
●●(株)御中	登録番号	〇〇会社 (T1234.....)	
〇年〇月〇日	請求金額	115,400 円	
〇月〇日	丸太	110,000 円	
〇月〇日	乾しいたけ※	5,400 円	
	合計	115,400 円	
適用税率	10%対象	110,000 円	内税 10,000 円
	8%対象	5,400 円	内税 400 円
※は軽減税率対象			消費税額等

赤字が従来の区分記載請求書との変更点 →

○ スケジュール及び免税事業者からの課税仕入れに係る経過措置

- インボイス発行事業者となるためには、令和5年9月30日までに登録申請書を提出することで、令和5年10月1日の制度開始時に登録が可能です。
（登録通知が届くまで一定期間を要するため、登録を受ける事をお決めの方は、お早めの申請をおすすめします）
- インボイス制度の開始後6年間（令和11年9月30日まで）は、免税事業者等が発行する従来の区分記載請求書等に基づき、一定の割合で仕入税額控除ができる経過措置が設けられています（下図）。



○ インボイスの保存を必要としない仕入税額控除の特例

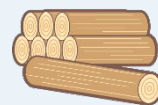
- 森林所有者や林業者等が森林組合や農協等に委託販売する場合（組員が、無条件委託方式かつ共同計算方式により販売委託するものに限る※1）は、インボイスの交付義務が免除され、購入事業者は、森林組合等が発行する書類に基づいて仕入税額控除をすることができます。（協同組合特例）

① 無条件委託方式

出荷した農林水産物について、売値、出荷時期、出荷先等の条件を付けずに、その販売を委託すること

② 共同計算方式

一定の期間における農林水産物の譲渡に係る対価の額をその農林水産物の種類、品質、等級その他の区分ごとに平均した価格をもって算出した金額を基礎として精算すること



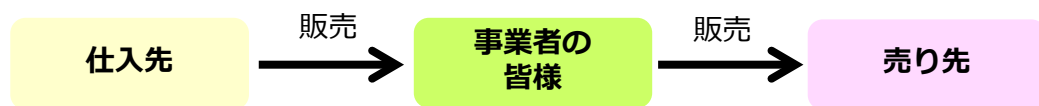
- 卸売市場※2を通じた生鮮食料品等の委託販売の場合（中央・地方卸売市場とそれらに準ずる市場に限る）についても、インボイスの交付義務が免除され、購入事業者は卸売市場等が発行する一定の書類の保存で、仕入税額控除が可能となります。（卸売市場特例）

※1 原木市場等では、一般的に、それぞれの桧に含まれる出荷者の材の数量が把握でき、出荷者ごとの材の数量と桧ごとの単価により精算されますが、このような精算方法は共同計算方式には当たりません。

※2 特例の対象となる卸売市場とは生鮮食料品等の卸売のために開設される市場であって、木材市場は対象となりません。

○ 消費税インボイス制度への対応

インボイス制度が開始されるに当たり、森林・林業・木材産業の事業者の皆様は、次のような対応や検討が必要になります。



課税事業者の場合

(基準期間における課税売上高が1,000万円を超える事業者等。消費税の納税義務があります。)

<売り先との関係>

- ① インボイス発行事業者となるためには、**税務署長の登録を受ける必要**があります。
- ② インボイスとして売り先に発行する請求書等に、現行の区分記載請求書の記載事項に加えて、登録番号、適用税率（8%、10%）、消費税額等を記載する必要があります。
- ③ **売り先の求めに応じて、インボイスを発行する必要があります。**



<仕入先との関係>

- ④ **仕入先がインボイス発行事業者であるか確認する必要があります。**
- ⑤ 仕入税額控除を適用するためには、原則として、仕入先からインボイスを発行してもらい、保存しておく必要があります。
- ⑥ 仕入先が免税事業者の場合は、インボイスを発行してもらえないため、仕入税額控除ができなくなることに
よる影響（※1・2）を踏まえて、**仕入先や売り先と価格面を含め適正な取引条件等を話し合っておいて
下さい**。その際、**一方的な取引価格の引下げや取引の打切りは、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）
となるおそれ**があります。また、消費税の性質上、免税事業者であっても自らの仕入れや諸経費に係る消費
税を負担しているので、**その分は免税事業者の取引価格に織り込まれる必要があります。**

※ 1 仕入先が免税事業者等のインボイス発行事業者でない場合であっても、**制度開始後6年間は、一定割合の仕入税額控除が
できる経過措置が設けられています**（P2）。

※ 2 課税売上高が1億円以下である事業者は、**制度開始後6年間は、税込1万円未満の課税仕入れについて、一定の事項を記
載した帳簿のみの保存で仕入税額控除ができる措置が設けられています。**

簡易課税事業者の場合

(基準期間における課税売上高が5,000万円以下の事業者が選択できます。
売上税額から消費税の納税額を計算します。)

<売り先との関係>

課税事業者の場合の①～③と同じ

<仕入先との関係>

特段の対応の必要はありません。

※ 売上税額と「みなし仕入率」によって消費税の納税額を計算するため、
仕入先からインボイスを発行してもらう必要がありません。

簡易課税制度を選択した場合の計算方法

納付する税額＝

売上げの消費税額 $\times$ $\frac{\text{みなし仕入率}}{100}$ $\times$ **仕入れや経費の消費税額**

売上げの消費税額 $\times$ **みなし仕入率**

売上税額がわかれば
納付税額の計算が可能

インボイスは
保存不要

業種ごとに
決められている

事業区分	該当する事業	みなし仕入率
第一種	卸売業	90%
第二種	小売業、農林漁業（飲食料品）	80%
第三種	製造業、農林漁業（飲食料品除く）等	70%
第四種	その他事業（飲食店業等）	60%
第五種	サービス業等	50%
第六種	不動産業	40%

消費税の申告に際して、**仕入れや経費の消費税額の実額計算、インボイスの保存が不要**となり、
事務負担の軽減を図ることができます！

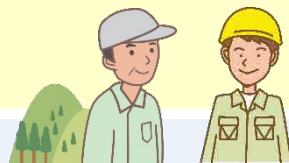
(注) 簡易課税制度の適用には、事前の届出書の提出と、基準期間の課税売上高が5,000万円以下であることが必要です。

<売り先との関係>

- ① インボイスを発行できません。
- ② 売り先が消費者、免税事業者、簡易課税事業者である場合、森林組合、農協、事業協同組合等への委託販売を行う場合（組合員が無条件委託方式かつ共同計算方式により販売委託するものに限り※1）、卸売市場を通じた生鮮食料品等の委託販売を行う場合（中央・地方卸売市場とそれらに準ずる市場に限り※1）は、インボイスの発行を求められないため、これまでの取引と何ら変わりません。
 - ※1 原木市場等では、一般的に、それぞれの極に含まれる出荷者の材の数量が把握でき、出荷者ごとの材の数量と極ごとの単価により精算されますが、このような精算方法は共同計算方式には当たりません。
- ③ 売り先が簡易課税制度を選択していない課税事業者である場合は、売り先が仕入税額控除をできなくなるため※2・3、**売り先と価格面を含め適正な取引条件等を話し合っておいて下さい。**なお、今後の経営発展等を考えて、**課税事業者（簡易課税事業者を含む）へ転換することも選択肢の一つ**として考えられます。
 - ※4・5
 - ※2 制度開始後6年間は、免税事業者の発行する従来の区分記載請求書等に基づき、一定割合の仕入税額控除ができる経過措置が設けられています（P2）。
 - ※3 売り先が課税売上高1億円以下の事業者である場合、制度開始後6年間は、税込1万円未満の少額な取引について、インボイスの保存がなくても仕入税額控除ができる措置が設けられているため、これまでの取引と変わりません。
 - ※4 インボイス発行事業者の登録を受けるかどうか（課税事業者等へ転換するかどうか）は**事業者の任意**です。
 - ※5 免税事業者からインボイス発行事業者となる場合、制度開始から3年間は、納税額を売上税額の2割に軽減する措置（2割特例）が設けられています。2割特例は確定申告時に選択することができ、当該事業者が簡易課税制度を選択していたとしても、確定申告時に2割特例を選択することができます。

<仕入先との関係>

特段の対応の必要はありません。



免税事業者の方や、取引先が免税事業者である場合の対応に関する考え方

仕入先である免税事業者との取引について、インボイス制度の実施を契機として取引条件を見直すことを検討する場合に、一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りなど、独占禁止法上の問題（優越的地位の濫用）等とならないように注意する必要があります。

関係省庁連名で、令和4年1月19日付「免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A」（財務省・公正取引委員会・経済産業省・中小企業庁・国土交通省）が公表されていますので、制度への理解を深め、必要な対応をご検討いただく際に参考としてください。

免税事業者等
Q & A



○ インボイス制度に関するお問合せ

農林水産省（林野庁）の相談窓口

インボイス制度に関する相談ダイヤル（林業・木材産業関係）

林野庁企画課 **03-3502-8111**（内線**6064**）【受付時間】9:30～17:00（土日祝除く）

メールアドレス [syohhizei_rinya@maff.go.jp](mailto:syouhizei_rinya@maff.go.jp)

国税庁ホームページ インボイス制度特設サイト

インボイス制度のより詳しい情報や、国税庁が行っているオンライン説明会の模様、申請手続きに関することや、Q&Aなどを掲載しています

財務省ホームページ「令和5年度改正におけるインボイス制度の改正について」

令和5年度税制改正における、インボイス制度の負担軽減措置に係る改正内容について掲載しています

インボイスコールセンター

インボイス制度に関する一般的なご質問やご相談は、以下で受け付けています
【専用ダイヤル】0120-205-553 【受付時間】9:00～17:00（土日祝除く）

農林水産省サイト



国税庁特設サイト



税制改正特設サイト



令和5年4月版

林業信用保証のご案内

公的機関が林業・木材産業に必要な資金の保証を行います

■ 一般資金への保証

林業・木材産業に必要な運転資金及び設備資金を幅広く対象にする保証です。
(原則80%保証。一被保証者当たりの保証限度額は財務状況に応じて6億円以下です。)

■ 林業・木材産業災害復旧対策保証

林野庁長官が指定した災害（新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰等による影響を含む。）による影響を受けた方の復旧、資金繰り安定化のための資金に対する保証です。
(最大5年間保証料免除。罹災証明書等をご準備いただくことが必要です。)

■ 制度資金への保証

林業・木材産業の経営改善のための新たな計画や事業を合理化する計画を作成して、都道府県知事の認定を受けた方が、計画に従って事業を行うための資金に対する保証です。
林業・木材産業改善資金、木材産業等高度化推進資金の保証も行っています。
(都道府県による貸付限度額の定めがあります。)

● 林業・木材産業改善資金

林業・木材産業の経営の改善を目的として、新たな取組を行うために必要な設備資金を無利子で融資する制度です。

● 木材産業等高度化推進資金

木材の生産及び流通を円滑にすることや効率的・安定的な林業経営を図るために必要な運転資金を低利で融資する制度です。

※保証のご利用には審査があります。審査の結果、ご希望に添えない場合があります。

【相談窓口】

独立行政法人農林漁業信用基金

電話：03-3434-7825（林業信用保証管理部：都道府県又は一般の方）
03-3434-7826、7827（林業信用保証業務部：融資機関の方）

制度の概要、活用事例などはこちら

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

お気軽にご相談ください。



広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

【背景】

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD  CHANGE

WOOD  CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問合せ先：林野庁木材利用課 消費対策班（TEL：03-6744-2298）





緑の募金

原画：根本由愛さん

森林^{もり}を守る^{まも}
森林^{もり}を活^いかす


ご協力を
お願いします

「緑の募金」は、身近な地域の森づくりをはじめ、国内外の森づくりや人づくりなどに大切に活用されています。



春の新緑シーズン(1月～5月)と秋の紅葉シーズン(9月～10月)の年2回
家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などによって行われています。

緑の募金に関するお問い合わせはこちらまで

公益社団法人 国土緑化推進機構 ☎ 0120-110-381
ホームページ <https://www.green.or.jp> 電子メールアドレス bokin@green.or.jp

